

平成19年度日本植物病理学会大会プログラム

3月28日(水)

<p>9:00 - 12:00 総会・授賞式 (宇都宮大学農学部3101番教室)</p> <p>新会長講演 真山滋志氏: 植物病理学と学会の使命</p> <p>学会賞受賞者講演 堀江博道氏: 各種園芸作物病害の診断と生態及び防除に関する研究 西口正通氏: 弱毒ウイルスに関する基礎研究 寺岡 徹氏: イネ・いもち病菌の相互認識機構に関する研究</p>
<p>13:00 - 13:20 学術奨励賞受賞者講演</p> <p>増中 章氏: タンゼリンbrown spot病菌の宿主特異的ACT毒素生成遺伝子に関する研究(第2会場: 座長 竹中重仁) 清水将文氏: 植物内生放線菌を用いた耐病性組織培養苗の作出(第5会場: 座長 久保康之) 石川(末廣)典子氏: カブモザイクウイルスの病原性解析と簡易検出法の開発(第3会場: 座長 大木 理)</p>

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
<p>13:30-17:42 101-121 菌類病 分類同定</p>	<p>13:30-17:42 201-220, 283 菌類病 いもち病</p>	<p>13:30-17:42 301-321 ウイルス病 ウイロイド 発生生態</p>	<p>13:30-16:54 385-401 ウイルス病 複製・遺伝子発現 分子進化</p>	<p>13:30-16:42 501-516 細菌病 ファイトプラズマ病 性状・分類・同定・検出・診断</p>
<p>18:45 - 20:45 懇親会 (ホテルニューイタヤ)</p>				

3月29日(木)

<p>9:00-11:48 122-135 菌類病 分類同定</p>	<p>9:00-12:12 221-235, 282 菌類病 いもち病・感染生理</p>	<p>9:00-12:00 322-335, 411 ウイルス病 発生生態・土壌伝染</p>	<p>9:00-10:48 402-410 ウイルス病 媒介機構他 マイコウイルス</p>	<p>9:00-12:12 517-532 細菌病 性状・分類・同定・検出・診断 感染生理</p>
<p>13:00-17:00 136-155 菌病類 発生生態</p>	<p>13:00-16:48 236-255 菌類病 感染生理 検出・診断・性状</p>	<p>13:00-17:36 336-357, 413 ウイルス病 土壌伝染・弱毒ウイルス・抵抗性</p>	<p>13:00-16:36 450-467 植物保護 病原性・抵抗性 感染生理・薬剤耐性</p>	<p>13:00-16:36 533-550 細菌病 病原性・抵抗性 生態</p>

3月30日(金)

<p>9:00-12:00 156-170 菌類病 防除薬剤・薬剤耐性 生物防除・防除法</p>	<p>9:00-11:36 256-268 菌類病 検出・診断・性状 その他</p>	<p>9:00-12:12 358-372, 412 ウイルス病 サイレンシング 病徴発現</p>	<p>9:00-12:36 468-484, 500 植物保護 防除薬剤・防除法・抵抗性・検出 その他</p>	<p>9:00-11:48 551-564 細菌病 防除・その他 感染生理</p>
<p>13:00-16:36 171-188 菌類病 生物防除・防除法</p>	<p>13:00-15:36 269-281 菌類病 検出・診断・性状 病原性・抵抗性</p>	<p>13:00-15:24 373-384 ウイルス病 病徴発現 複製</p>	<p>13:00-16:00 485-499 植物保護 生物防除・防除法 発生生態・その他</p>	<p>13:00-14:00 編集委員会主催 オンライン投稿説明会</p>
<p>16:50 - 閉会式 (宇都宮大学農学部3101番教室)</p>				

お 願 い

会場

- ・宇都宮大学では建物内はすべて禁煙です。喫煙はご面倒ですが喫煙コーナーでお願いいたします。

大会参加

- ・同封の名札は参加証を兼ねますので、大会期間中は常に名刺ホルダーに入れて身につけてください。懇親会でも同様です。なお、名札の下側は領収書になっております。
- ・大学会館2階などに休憩室を設けてあり、協賛各社からのフリードリンクもあります。大会参加者間における連絡は、大学会館2階休憩室の伝言板を御利用ください。
- ・大学会館には企業の展示ブースも設置されています。

講演発表

- ・講演時間は10分間（予鈴8分）、討論2分の合計12分です。講演と講演の間に時間的余裕がありませんので、決められた日程の時間内をお願いします。講演要旨の訂正がある場合も時間の延長は出来ませんので、特にご留意ください。
- ・発表用ファイルは、前もって必ずWindows版「PowerPoint 2003」で正常に表示されることをご確認ください。解像度は通常のXGA（1024×768ピクセル）です。
- ・「PowerPoint 2007」で作成したファイルは使用できません。
- ・特殊なフォントやアニメーション等の機能は使わないでください。
- ・ファイル名は「会場番号－講演番号－発表者苗字」とし、「1-234-Okuda」のように半角英字で表記してください。提出するCDの表面には油性マジックで講演番号と発表者氏名をご記入ください。
- ・発表用ファイルはCD-Rに入れ、遅くとも半日前までに各会場入口の受付にお渡しください。たとえば大会2日目午前が発表の場合は1日目に、2日目午後が発表の場合は2日目の午前中までに受付へCD-Rを必ずお持ちください。CD-Rは講演終了後に受付で返却いたします。
- ・各会場ともスクリーンが小さめですので、後部座席からでも判読できるように小さい文字や細かい図表は避けて作成してください。また、重いファイルはパソコンの動作に不具合を生じることがありますので、出来るだけ軽いファイルにしてください。
- ・パソコンの操作は会場係が行います

座長

- ・必要があれば、事前にメールなどで講演者と打ち合わせを行い、講演要旨の訂正をお願いしてください（連絡先不明の場合は大会事務局へお問い合わせください）。
- ・講演要旨の訂正は、座長用の講演要旨集に赤字で記入するか、訂正原稿を挟み込んでください。
- ・講演要旨の記載事項は、日植病報の投稿細則に準じるものとします。
- ・時間どおりの進行、および学生優秀発表賞の評価に御協力をお願いいたします。

懇親会

- ・懇親会会場（ホテルニューイタヤ）は、宇都宮大学前からバスに乗り、JR宇都宮駅の次の上河原で下車するとすぐです。5時40分までは宇都宮大学前に5分おきに東野バスかJRバスが来ますので、早めにご利用ください。また、最後の講演にあわせて臨時バスを運行しますが、混雑を避けるため、路線バスの積極的なご利用をお願い致します。なお、臨時バスおよび路線バスの運賃は200円、所要約20分です。

編集委員会主催「英文ワークショップ」と「オンライン投稿説明会」

- ・恒例の「ベスさんによる英文ワークショップ」を3月29日(木)午後1時～2時半と30日(金)午前10時～11時半の2回、農学部棟2階「ゼミナール室」で開催しますので奮って御参加ください。なお、参加される方には、テキストのコピー代として500円をいただきます。
- ・「オンライン投稿説明会」を30日(金)午後1時～2時に第五会場で開催します。4月よりJGPP英文投稿論文は、すべてインターネットによるオンライン投稿となるので是非御参加下さい。

3月28(水) 第1日目	第1会場	第2会場
13:30	<p>101 座長 佐藤豊三 メロンつる割病菌レース間におけるIGS領域の塩基配列を用いた分子系統解析(2) ○半田智一・薄 史暁*・小河原孝司・佐藤京子* (茨城農業総七園研・*(財)園研)</p>	<p>201 座長 古賀博則 スポット接種による葉いもち高度圃場抵抗性イネ系統の評価○安田伸子・藤田佳克・焦 鋒・福岡修一*・前田英郎**・茨城太郎***・安東郁男***・林 長生*・善林 薫****・小泉信三***** (中央農研・*生物研・**作物研・***茨城農総セ・****東北農研)</p>
13:42	<p>102 インゲンマメ根腐病菌の学名変更について ○青木孝之 (生物研)</p>	<p>202 イネいもち病圃場抵抗性遺伝子<i>Pi34</i>の候補遺伝子の発現および塩基配列の解析 ○善林 薫 (東北農研)</p>
13:54	<p>103 東海地方に分布するムギ類赤かび病菌の菌種およびマイコトキシン産生型 ○上田晃久・西本浩之・加藤順久・平野哲司・深谷雅博 (愛知農総試)</p>	<p>203 イネの誘導抵抗性に関与する転写因子<i>OsWRKY45</i>の下流遺伝子の探索と活性制御機構の解析 ○中山明・菅野正治・姜 昌杰・霜野真幸・高辻博志 (生物研)</p>
14:06	<p>104 北海道のイネから分離した赤かび病菌の同定 ○佐藤敏郎・相馬 潤*・古屋廣光・内藤秀樹・藤 晋一 (秋田県大生資・*道立中央農試)</p>	<p>204 イネのBTH誘導性WRKY型転写因子が誘導抵抗性において果たす役割について ○霜野真幸・菅野正治・姜昌杰・林長生・加来久敏・中山 明・高辻博志 (生物研)</p>
14:18	<p>105 滋賀県におけるムギ類赤かび病菌(<i>Fusarium graminearum</i>種複合体)の種と毒素タイプについて ○金子誠・尾賀邦雄・有元倫子・北澤健・須賀晴久* (滋賀農技セ・*岐大生命セ)</p>	<p>205 マンノース結合型イネレクチン(MRL)導入形質転換体イネの創出と病害抵抗性 ○新城 亮・荒木佑子・平野 恒*・有江 力・寺岡 徹 (農工大農・*名古屋大農)</p>
14:30	<p>106 <i>Fusarium oxysporum f. sp. conglutinans</i>のIGS領域および<i>MAT1-1</i>の塩基配列に基づいた分子系統解析○塩谷純一郎・外側正之*・有江力**・竹内妙子***・吉田重信****・對馬誠也****・酒井隆子 (みかど協和・*静岡農試・**農工大農・***千葉農総研・****農環研)</p>	<p>206 座長 草場基章 ケイ酸施用はイネのいもち病菌の感染に対する全身特異的抵抗性発現を促進する ○森川千春*・梅本英之*・黒田 晃*・土肥浩二**・森 正之***・古賀博則*** (石川農総研・**JST/CREST・***石川県立大)</p>
14:42	<p>107 チリ、メキシコ産トマト属植物および根圏土壌から分離される<i>Fusarium oxysporum</i>の系統解析○稲見圭梧・岡部明子・川部眞登*・石川陽子**・Tobin L. Peever*・児玉基一郎***・寺岡 徹・有江 力(農工大院農・*ワシントン州大・**現 食品分析センター・***鳥取大農)</p>	<p>207 いもち病菌の感染により全身特異的抵抗性または真性抵抗性を発現しているイネのcDNAマイクロアレイ解析 ○西内 巧・土肥浩二*・森 正之*・**・古賀博則** (金沢大・*JST/CREST・**石川県立大)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>301 座長 奥田 充 日本の栽培リンゴから検出された <i>Apple dimple fruit viroid</i> (ADFDV) ○磯野清香・種田晃人*・佐野輝男・ 近藤賢一**・飯島章彦** (弘前大農 生・*弘前大理工・**長野果樹試)</p> <p>302 リンゴゆず果ウイルス-ホップ分離 株とリンゴ分離株の同一性 ○佐野輝男・松木慧悟・磯野清香・辻 雅晴・田中和明・近藤賢一*・飯島章 彦* (弘前大農生・*長野果樹試)</p> <p>303 本邦新発生ウイルス <i>Tomato chlorotic dwarf viroid</i> によるトマト 退緑萎縮病 (仮称) ○津田新哉・松下陽介*・神田絢美・ 宇杉富雄 (中央農研・*花き研)</p>	<p>385 座長 吉川信幸 <i>Red clover necrotic mosaic virus</i>の マイナス鎖RNA合成に小胞体膜は必須 か? ○岩川弘宙・海道真典・三瀬和之・奥 野哲郎 (京大院農)</p> <p>386 共免疫沈降法を用いた <i>Red clover necrotic mosaic virus</i> の複製酵素成 分タンパク質間の相互作用の解析 ○峯 彰・岩川弘宙・竹田篤史*・海 道直典・三瀬和之・奥野哲郎 (京大院農・*東大院総文)</p> <p>387 <i>Red clover necrotic mosaic virus</i> (RCNMV) RNA1のサブゲノムRNA1aの キャップ非依存性翻訳における5' 非翻訳領 域の役割○サラワニヤラック シリラック・ 岩川弘宙・村上裕美*・水本祐之**・海道真 典・三瀬和之・奥野哲郎(京大院農・*現コクヨ (株)・**現瀬戸内水産総研)</p>	<p>501 座長 田中 穰 ファイトプラズマの主要抗原膜タンパ ク質は媒介昆虫のマイクロフィラメン トと複合体を形成する ○星 朱香・鈴木志穂・石井佳子・柿 澤茂行・大島研郎・難波成任 (東大院農)</p> <p>502 ファイトプラズマの媒介昆虫特異性の 決定メカニズム ○柿澤茂行・鈴木志穂・石井佳子・星 朱香・大島研郎・難波成任 (東大院 農)</p> <p>503 アジサイ葉化病ファイトプラズマの葉 化組織における分布 ○嵐田 亮・星 朱香・石井佳子・柿 澤茂行・大島研郎・難波成任 (東大院農)</p>
<p>304 座長 松尾和敏 関東地方で発生しているトマト黄化葉 巻ウイルス (TYLCV) の系統・分離株解 析 ○上野敬規・鈴木 匡*・上田重文**・久保周子 ***・中山喜一****・平野泰志*****・植草秀敏*****・國 友義博*****・宇垣正志* (東大農・*東大院新領域・** 九州沖縄農研・***千葉農総研・****栃木農試・*****埼玉 農総研・*****神奈川農技セ・*****山梨総農技セ)</p> <p>305 施設トマトでのタバコナジラミ、バ イオタイプBおよびQ媒介によるTYLCV の空間的な分散様式の比較 ○松浦昌平・星野 滋・北村登史雄 *・本多健一郎* (広島農技セ・*野菜茶 研)</p>	<p>388 座長 宇垣正志 キクBウイルスのORF6タンパク質の機 能解析 ○大川篤史・西川尚志*・奥田誠一・ 夏秋知英 (宇都宮大農・*宇都宮大遺伝子)</p> <p>389 ウイルス遺伝子のキャップ非依存的翻 訳に関する因子群の探索について ○小倉里江子・松尾直子・平塚和之 (横浜国大院・環境情報)</p>	<p>504 ファイトプラズマの宿主細胞接着因子 ホモログP38の宿主細胞タンパク質と の接着能 ○石井佳子・星 朱香・柿澤茂行・大 島研郎・難波成任 (東大院農)</p> <p>505 ファイトプラズマゲノムの可塑性 ○大島研郎・柿澤茂行・石井佳子・星 朱香・鎌和田聡・難波成任 (東大院農)</p>
<p>306 <i>Tomato yellow leaf curl virus</i> 感染 葉でのウイルス蓄積量とタバコナジ ラミ保毒率との関係 ○前田美沙・大西純*・斎藤新*・北村 登史雄*・行徳裕・小牧孝一・本多健 一郎* (熊本農研セ・*野菜茶研)</p>	<p>390 数種Potyvirusの5' 非翻訳領域 (5' UTR) に由来するInternal ribosome entry site (IRES) 活性に ついて○中浜克彦・小倉里江子・林原 千恵子・松尾直子・平塚和之 (横浜国 大院環境情報)</p>	<p>506 座長 塩谷 浩 タマネギ萎黄病ファイトプラズマの非 媒介昆虫ツマグロヨコバイ虫体内にお ける増殖分布 ○中島 智・西村典夫・藤澤一郎・土 崎常男・柿澤茂行*・難波成任* (鯉淵学園・*東大院農)</p>
<p>307 座長 濱本 宏 Identification of <i>Tobacco leaf curl Japan virus</i> infecting <i>Lonicera japonica</i>; an ornamental plant common in Japan. ○Ali, A., Natsuaki, T.* and Okuda, S.*(NWFP Agricultural Univ., *Utsunomiya Univ.)</p>	<p>391 トマトモザイクウイルス誘導感染系を 用いたタバコBY-2培養細胞におけるヒ トガンマイナーフェロンの発現○土 肥浩二*, **・飯 哲夫**, ***・石川雅之 **, ***・森 正之**, ** (*石川県立大・ **JST/CREST・***生物研)</p>	<p>507 Prunus属樹種から検出されたファイト プラズマ ○河辺祐嗣・横井寿郎・楠木学* (森 林総研森林微生物研究領域・*同四国 支所)</p>

3月28日(水) 第1日目	第1会場	第2会場
14:54	<p>108 座長 竹内 純 <i>Coniella castaneicola</i>によるカツラ コニエラ葉枯病 (新称) 矢口行雄・○中野真弓・宮坂裕美・奥 田 徹*・土屋有紀*・小林享夫** (東農大地域環境・*玉川大学術・* *東農大国際)</p>	<p>208 エチレン・青酸合成の誘導が幼若イネ におけるいもち病抵抗性に重要な役割 を担っている 岩井孝尚・瀬尾茂美*・○大橋祐子*・ 光原一朗* (宮城農業園芸総研・*生物 研/PROBRAIN)</p>
15:06	<p>109 <i>Botrytis cinerea</i>によるブロワリア灰 色かび病の発生 (新称) ○菅原敬・松館綾子*・伊藤陽子* *・生井恒雄* (山形庄内産地研, * 山形大農, **花き研)</p>	<p>209 野生型イネの光依存的抵抗性に及ぼす 光合成阻害剤の影響 ○今岡敦子・上野 誠・門脇正行・木 原淳一・荒瀬 榮 (島根大生資)</p>
15:18	<p>110 鹿児島県のキクに発生した <i>Stemphylium</i> sp.による小斑点病 (新 称) について ○西 菜穂子・伊藤陽子*・築尾嘉章 *・中村正幸**・牟田辰朗 (鹿児島農 総セ大島支場・*花き研究所・**鹿児 島大農)</p>	<p>210 座長 中屋敷均 イネいもち病菌 (<i>Magnaporthe grisea</i>) の病原性に関与する液胞性サ プティリシン様セリンプロテアーゼ SPM1○齋藤宏昌・藤澤志津子・伊東明子・三 岡周子・Thomas Berberich・朝倉万琴*・高野 義孝*・寺内良平 (生研センター基礎研究推進 事業で実施: 岩手生工研・*京大院農)</p>
15:30	<p>111 <i>Gibberella zeae</i> (anamorph: <i>Fusarium graminearum</i>) によるホワイト トレースフラワー萎凋病 (新称) 青木康倫・○廣岡裕史・植松清次*・ 小林享夫・夏秋啓子 (東京農大国際・ *千葉農総研暖地)</p>	<p>211 いもち病菌感染器官の各種阻害剤処理 による剥離効果 ○井上加奈子・池田健一・朴杓允 (神 戸大院自然科学)</p>
15:42	<p>112 センリョウに発生した<i>Colletotrichum</i> sp.による炭疽病 (新称) および<i>Phoma</i> sp.による輪紋病 (新称) ○塚本俊秀 (島根農技セ)</p>	<p>212 イネいもち病菌の感染過程特異的な発 現を示すMGH61A遺伝子 ○三田地貴史・齋藤憲一郎*・石井ふ み・有江 力・鎌倉高志**・寺岡 徹 (農工大農・*生物研・**東京理科大 理工)</p>
15:54	<p>113 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> に よるヤエヤマアオキ炭疽病 (新称) ○田場 聡・那須奏美*・諸見里善 一・澤岨哲也* (琉大農・*沖縄農研セ)</p>	<p>213 イネいもち病菌侵入部位におけるオー キシン局在の蛍光抗体法による解析 ○田中栄爾・古賀博則 (石川県立大)</p>
16:06	<p>114 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> (Penzig) Penzig & Saccardoによるニ チニチソウ炭疽病 (根拠再提示) ○富岡啓介・西川盾士*・森脇丈治 **・佐藤豊三 (生物研・*サカタのタ ネ・**中央農研)</p>	<p>214 イネいもち病菌のDNA組換え修復遺 伝子<i>Rhm54</i>のレポーター解析 ○工藤亮子・曾根輝雄 (北大院農)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>308 Ageratum(<i>Ageratum conyzoides</i>)から分離されたトマト葉巻病の病原ペゴモウイルスの1つであるPepper yellow leaf curl <i>Indonesia virus</i> (PepYLC1DV) ○佐方淳資・渋谷豊・今辰也*・Sri H. Hidayat**・池上正人(東北大院農**・カリフォルニア大**・ボゴール農科大学)</p> <p>309 葉脈黄化モザイク症状を示すスイカズラから分離したHoneysuckle yellow vein mosaic virus (HYVMV) とそれに付随するサテライトDNAβはトマトに黄化萎縮症状を誘導する小川拓水・○伊藤拓也・Pradeep Sharma・池上正人(東北大院農)</p> <p>310 葉脈黄化症状を示すスイカズラから分離したTobacco leaf curl Japan virus (TbLCJV) とそれに付随するサテライトDNAβによるトマトへの感染様式○小川拓水・伊藤拓也・Pradeep Sharma・池上正人(東北大院農)</p>	<p>392 座長 大島一里 ニホンナシ粗皮関連ウイルスの全塩基配列 ○大崎秀樹・佐々木厚子*・吉田幸二* (近中四農研**・果樹研)</p> <p>393 シンビジウムモザイクウイルスの完全長cDNAクローンの作製 ○小川広子・山根健治・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農)</p> <p>394 ダイコンひだ葉モザイクウイルス (<i>Radish mosaic virus</i>; RaMV) のゲノムRNA-1の全塩基配列 ○橋本将典*・小松 健**・前島健作*・高橋修一郎*・難波成任*,** (*東大院農**・東大院新領域)</p>	<p>508 等温遺伝子増幅法 (ICAN法) によるカンキツグリーニング病細菌 '<i>Candidatus Liberibacter asiaticus</i>' の検出浦崎直也・○河野伸二・向井博之*・上森隆司*・武田理*・佐野輝男** (沖縄農研**・タカラバイオ**・弘前大農生)</p> <p>509 人工保毒させたミカンキジラミによるカンキツグリーニング病の虫媒接種試験○宮田伸一・井上広光・岩波徹・芦原亘 (果樹研・カンキツグリーニング病研究チーム)</p> <p>510 LAMP法による "<i>Candidatus Phlomobacter fragariae</i>" の16S rDNAの検出 ○田中穰 (中央農研)</p>
<p>311 座長 松浦昌平 宿主内におけるトマト黄化えそウイルス (TSWV) 濃度とミカンキイロアザミウマによるウイルス獲得頻度の関係 ○岡崎真一郎・奥田充*・山崎修一・櫻井民人** (大分農林水産研安全**・九州農研**・東北農研)</p>	<p>395 ダイコンひだ葉モザイクウイルス (<i>Radish mosaic virus</i>; RaMV) のゲノムRNA-2の全塩基配列 ○小松 健*・橋本将典**・前島健作**・高橋修一郎**・難波成任*,** (*東大院新領域**・東大院農)</p>	<p>511 座長 澤田宏之 パルスフィールド電気泳動による <i>Erwinia amylovora</i> 及び <i>E. pyrifoliae</i> の系統識別データベースの作成 上松寛・水野明文・塚本貴敬・佐藤成良 (横浜植防)</p>
<p>312 アイリスイエロースポットウイルスにおけるネギアザミウマ媒介虫の検定法 ○井上登志郎・村井保・夏秋知英(宇都宮大農)</p> <p>313 露地キュウリ栽培終了時におけるミナミキイロアザミウマのメロン黄化えそウイルス保毒率推移 ○楠元智子・崎山進二・窪田聖一・村上要三・奈尾雅浩 (愛媛農試)</p>	<p>396 座長 藤 晋一 A Point Mutation Changes the Serotype of a Potato virus Y Isolate ○Chikh Ali, M. *,**, Maoka, T.*** and Natsuaki, K.T.* (*Tokyo Univ. Agric., **GOSM Syria, ***NARCH)</p> <p>397 本邦におけるジャガイモウイルス塊茎えそ分離株集団の遺伝構造 ○小川哲治・富高保弘*・仲川晃生**・大島一里*(長崎総農林試愛野**・佐賀大農**・現, 中央農研)</p>	<p>512 火傷病菌及びナシ枝枯細菌病菌検出用プライマーの作製○松浦貴之・佐々木厚子*・島根孝典*・上松 寛**・井上康宏・畔上耕児 (中央農研**・果樹研**・横浜植防)</p> <p>513 LAMP法を用いたイネ苗立枯細菌病菌およびイネもみ枯細菌病菌の検出 ○濱絵里子・塚本昇市・安達直人* (石川農総研**・石川県庁)</p>
<p>314 座長 河野敏郎 日本で分離された <i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i> (CSNV) の遺伝学的および生物学の特徴 ○奥田充・久保田健嗣・松浦昌平*・奥田しおり・大貫正俊 (九州農研**・広島農技セ)</p>	<p>398 <i>Potexvirus</i> 属の種の分類基準に関する再検討 ○山次康幸*・橋本将典*・前島健作*・千秋博子*・小松 健**・高橋修一郎*・難波成任*,** (*東大院農**・東大院新領域)</p>	<p>514 LAMP法によるイネ苗立枯細菌病菌およびイネもみ枯細菌病菌の検出結果と発病の比較検討○塚本昇市・濱絵里子・安達直人* (石川農総研**・石川県庁)</p>

3月28日(水) 第1日目	第1会場	第2会場
16:18	115 座長 大久保博人 <i>Cylindrocladium canadense</i> によるツボサンゴ株枯病 (新称) ○竹内 純・廣岡裕吏*・堀江博道・夏秋啓子* (東京農総研・*東京農大国際)	215 Studies on the <i>Inago1</i>, <i>Inago2</i>, and <i>Swarm</i> retrotransposons of the rice blast fungus ○Sanchez, E., Elegado, E. and Sone, T. (Grad. Sch. Agr., Hokkaido Univ.)
16:30	116 愛知県における <i>Corynespora cassiicola</i> によるキンギョソウ斑点病 (新称) の発生 ○松崎聖史・深谷雅博 (愛知農総試)	216 座長 林 長生 シコクビエいもち病菌における非病原力遺伝子 <i>PWL1</i> 周辺構造の比較解析 ○田中正起・中屋敷均・眞山滋志・土佐幸雄 (神戸大農)
16:42	117 <i>Corynespora cassiicola</i> によるサルビアの黒褐色斑点病 (新称) 古川 聡子・○牛山欽司*・岸 國平* * (首都大学東京・*神奈川みどりの総合診療所・**農業技術協会)	217 第一染色体部分配列が座乗する余剰染色体を保有する日本産イネいもち病菌の遺伝的分化 ○大鷹和也・草場基章 (佐賀大農)
16:54	118 サルビアに発生した菌核病 (新称) ○岡田清嗣・湯ノ谷彰*・景山幸二**・築尾嘉章***・草刈眞一 (大阪食とみどり技セ・*府立花の文化園・**岐阜大流域研セ・***花き研)	218 いもち病菌非病原力遺伝子 <i>AVR-Pita</i> ホモログのタイピング, マッピングおよび機能の比較解析 ○中馬いづみ・大鷹和也*・草場基章*・吉田健太郎**・中屋敷均・眞山滋志・土佐幸雄 (神戸大農・*佐賀大農・**岩手生工研)
17:06	119 センリョウ疫病から分離された <i>Phytophthora nemorosa</i> (日本新産) ○植松清次・海老原克介*・宇佐見俊行**・田中(三輪)千華・宍戸雅宏**・雨宮良幹** (千葉農総研暖地・*千葉大園芸)	219 日本産イネいもち病菌株における <i>Avr-Pita</i> ホモログの解析 ○高橋真実・芦澤武人・平八重一之・森脇丈治・曾根輝雄* (中央農研・*北大院農)
17:18	120 <i>Phytophthora</i> sp. によるキク疫病 (病原追加) ○築尾嘉章・守川俊幸*・景山幸二** (花き研・*富山農技セ野菜花き試・**岐阜大流域研セ)	220 イネいもち病菌の非病原性遺伝子 <i>Avr-Pia</i> のクローニング ○三木慎介・芦澤武人*・平八重一之*・富田房男・曾根輝雄 (北大院農・*中央農研)
17:30	121 エキウムおよびカラタバナに発生した疫病 (新称) ○田中(三輪)千華・植松清次・大谷巖・海老原克介*・景山幸二** (千葉農総研・*千葉県安房農振セ・**岐阜大流域研セ)	283 Comprehensive analyses of calcium signaling proteins in the rice blast fungus, <i>Magnaporthe oryzae</i>, by an RNA silencing approach O Quoc, N.B., Tosa, Y., Mayama, S., Nakayashiki. (Fac. Agri., Kobe Univ.)

第3会場	第4会場	第5会場
<p>315 トルコギキョウハウス周辺の作物・雑草におけるアイリスイエロースポットウイルスの感染状況 ○内山 徹・米山千温*・外側正之・鈴木幹彦・夏秋知英** (静岡農試・*静岡西部農林事務所・**宇都宮大)</p> <p>316 メロン黄化えそウイルス (MYSV) によるキュウリの被害 ○竹内繁治・下元祥史・安達理恵・矢野和孝 (高知農技セ)</p> <p>317 トマト黄化えそウイルス (TSWV) 弱毒分離株19Bの性状について ○新子泰規・Dick Peters*・村井保**・Rob Goldbach*・夏秋知英**・佐山春樹 (日本デルモンテ・*ワーゲニンゲン大・**宇都宮大農)</p>	<p>399 座長 眞岡哲夫 近畿および中国地方におけるカブモザイクウイルスbasal-BR集団の遺伝構造 ○富高保弘・大島一里 (佐賀大農)</p> <p>400 ギリシャのBrassica属植物から採集したカブモザイクウイルス集団の遺伝構造 ○早田裕子・富高保弘・Nikos Katis*・John A. Walsh**・大島一里(佐賀大農・*Aristotle University of Thessaloniki, Greece・**Warwick University HRI, UK)</p> <p>401 ダイコンに適応させたカブモザイクウイルス集団の遺伝的ボトルネック ○明石真幸・梶山裕美・大島一里 (佐賀大農)</p>	<p>515 ImmunoStrip™ Cmm を用いた残根からのトマトかいよう病菌の検出・分離方法 ○谷名光治・川口 章・井上幸次 (岡山農試)</p> <p>516 メロン果実腐敗症から分離された <i>Pantoea ananatis</i>(=<i>Erwinia ananas</i>) の病原性 ○木戸一孝・安達理恵*・竹内繁治*・曳地康史**・瀧川雄一*** (横浜植木株)・*高知農技セ・**高知大農・***静岡大農)</p>
<p>318 座長 伊藤隆男 モザイク症状を呈した栽培ジネンジョ (<i>Dioscorea japonica</i>) に発生するウイルスとその起源・拡散 ○藤 晋一・岩井 久*・井上幸次**・井水清智***・高田英治***・古屋廣光・内藤秀樹 (秋田県大生資・*鹿児島大農・**岡山農セ・***富山市農セ)</p> <p>319 ミャンマーのバナナにおけるウイルスの発生とその性状 古屋典子*・○長嶋一郎・Than Aye**・夏秋啓子 (東京農大国際, *農環研, **Ministry of Agric and Irrigation Myanmar)</p> <p>320 クワコナカイガラムシにより伝搬される新たなブドウウイルス ○中野正明・中畝良二・土 田 聡・望月雅俊 (果樹研ブドウカキ)</p> <p>321 温州萎縮ウイルスに対するカンキツ品種の感受性 ○清水伸一・三好孝典・橘 泰宣 (愛媛果樹試)</p>		

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
9:00	122 座長 築尾嘉章 日本新産種 <i>Valdensia heterodoxa</i> によるブルーベリー・バルデンシア葉枯病の発生 (新称) ○猫塚修一・兼松聡子*・原田幸雄**・田中和明**・佐野輝男** (岩手農研・*果樹研リンゴ・**弘前大農生)	221 座長 笹原剛志 新潟県のコシヒカリ同質遺伝子系統において2005~2006年に分布したイネいもち病菌のレース ○石川浩司・黒田智久・堀 武志・佐々木行雄 (新潟農総研作物研)
9:12	123 <i>Peltaster</i> sp. によるウメすす斑病 (新称) ○島津 康・林 恭平・花田裕美* (和歌山農総技セ果樹試うめ研・*わかやま産業興財団)	222 突然変異によって生じた病原性変異イネいもち病菌の病原性 ○藤田佳克・近藤誠*・安田伸子・平八重一之・園田亮一** (中央研・*宮城防除所・**野茶研)
9:24	124 沖縄本島産ビワより分離された <i>Seiridium</i> sp. (新種) の同定と病原性 ○佐藤豊三・小野泰典*・富岡啓介 (生物研・*三共 (株))	223 イネいもち病抵抗性に関する一遺伝子系統群を用いた病原菌レース国際判別体系の提案 ○林長生・福田善通* (生物研・*国際農研センター)
9:36	125 <i>Pseudocercospora actinidiae</i> Deightonによるキウイフルーツすす斑病 (新称) ○菊原賢次, 中島千晴* (福岡農総試, *三重大院生資)	224 座長 曾根輝男 日本産および諸外国産イネいもち病菌菌株の遺伝的類縁関係 ○三坂将和・平田健治*・土佐幸雄*・草場基章 (佐賀大農・*神戸大農)
9:48	126 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> によるハッサク果実の緑斑症状 ○間佐古将則・島津 康*・米田義弘** (和歌山果試・*和歌山果試うめ研・**日高農振)	225 シングルコピー配列をプローブとしたRFLP分析による野生 <i>Setaria</i> 属植物いもち病原菌集団の遺伝的多様性の検討 ○祝千尋・山頭亜紀子・三坂将和・草場基章 (佐賀大農・*神戸大農)
10:00	127 座長 富岡啓介 <i>Oidium</i> 属 <i>Reticuloidium</i> 亜属菌によるジニア, キクイモうどんこ病の新発生 (病原追加) および数種植物に発生した同亜属菌の宿主範囲 ○星 秀男・佐藤幸生*・堀江博道** (東京防除所・*富山県立大・**東京農総研)	226 高知県内の異なる種の作物から分離した <i>Corynespora cassiicola</i> の系統進化と寄生性の解析 ○下元祥史・北條広*・竹内繁治・沼田京太*・倉田宗良*・落合弘和**・木場章範***・曳地康史*** (高知農総技セ・*日植防研高知・**生物研・***高知大農)
10:12	128 <i>Pythium aphanidermatum</i> によるベニバナインゲン綿腐病 (新称) ○青木一美・東條元昭*・渡邊 健・埋橋志穂美**・柿嶌 眞** (茨城農総セ農研・*大阪府大院生環・**筑波大院生環)	227 座長 荒瀬 栄 希少糖による植物の抵抗性遺伝子発現の誘導と生育制御について ○山崎祐未子・佃晋太郎*・白川智景・福元健志・加野彰人・一井眞比古・何森健・秋光和也 (香川大農・*現石原産業)

第3会場	第4会場	第5会場
<p>322 座長 小坂能尚 国内のカンキツ樹からRT-PCRにより検出されたカンキツツローシスウイルス ○伊藤隆男・古田貴音*・難波信行** (果樹研カンキツ・*広島農セ・**五島農改セ)</p>	<p>402 座長 山次康幸 イネ萎縮ウイルスはクラスリン由来のエンドサイトーシスを利用して媒介昆虫細胞に感染する ○一木珠樹・Wei Taiyun・Hongyan Chen・日比野啓行・大村敏博 (中央農研)</p>	<p>517 座長 瀧川雄一 <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>carotovora</i> によるスイカ果実軟腐病 (新称) ○清水慶明・上松寛・岡田知子*・藤村寿祐*・水野明文・佐藤成良 (横浜植防・*山口県農試)</p>
<p>323 韓国のマクワウリにおけるキュウリ緑斑モザイクウイルス (KGMV) の発生とその特性 ○金 オッキョン・夏秋啓子・李 起運* (東京農大国際・*韓国慶北大)</p>	<p>403 レンゲ萎縮ウイルスの媒介アブラムシ体内における移行・分布 ○佐野義孝・加藤裕美・廣川友香・石川雪恵・小島誠 (新潟農大)</p>	<p>518 鳥取県で発生した移植後イネ株の腐敗の発生とその原因 ○長谷川優・畔上耕児*・篠原弘亮* (鳥取農試・*中央農研・**東北農研)</p>
<p>324 山口県のユリにおけるウイルス病の発生実態 ○村本和之・鍛冶原寛・唐津達彦 (山口農試)</p>	<p>404 リンゴ小球形潜在ウイルス (ALSV) のX線回折強度データを用いた初期構造作成の試み ○内藤久志・磯貝雅道*・吉川信幸*・横山茂之 (RIKEN Spring-8 Center・*岩手大農学部)</p>	<p>519 Viable But Non-Culturable (VBNC): Critical Conditions Determining Life and Death of <i>Ralstonia solanacearum</i> ○Moreira, S.D., Honjo, H., Natsuaki, T. and Fukui, R. (Utsunomiya Univ.)</p>
<p>325 ダイズ褐斑粒の発生抑制技術の開発 2) ウイルスの感染時期と褐斑粒・種子伝染率の関係 ○黒田智久・名畑越夫・堀 武志・石川浩司 (新潟農総研作物研)</p>	<p>405 座長 磯貝雅道 <i>Alternaria alternata</i>に内在する2本鎖RNAが宿主に与える影響 ○青木菜々子・森山裕充・児玉基一郎*・寺岡徹・有江力・福原敏行 (農工大農・*鳥取大農)</p>	<p>520 イネ白葉枯病菌のファージ感染型とレースの関係 ○井上康宏・津下誠治*・松浦貴之・落合弘和**・加来久敏** (中央農研・*京府大院農・**生物研・***現(株)サカタのタネ)</p>
<p>326 宮城県内のえそ症状ソラマメから分離された新規ポモウイルス ○中村茂雄・佐藤英典 (宮城農園研)</p>	<p>406 イネいもち病菌より分離されたウイルス (<i>Magnaporthe oryzae virus</i>; 新称) の全塩基配列 ○姫野未紗子・前島健作・山次康幸・濱本 宏・難波成任 (東大院農)</p>	<p>521 メロンがんしゅ病菌 <i>Streptomyces</i> sp. CB-1-1株の自己孢子発芽阻害物質の単離と性質 青木友・吉田政博*・川出洋・安部浩・○夏目雅裕 (農工大農・*九州東海大農)</p>
<p>327 座長 竹内繁治 <i>L¹</i>抵抗性誘導の温度非感受性に関わる <i>Tobacco mild green mosaic virus</i> 日本株の外被タンパク質のアミノ酸配列 ○山根由子・松元克俊・澤田博正*・小林括平**・木場章範・曳地康史 (高知大農・*高知農技セ・**岩手生工研)</p>	<p>407 イネいもち病菌より分離された <i>Magnaporthe oryzae virus</i> の系統解析 ○前島健作・姫野未紗子・山次康幸・濱本 宏・難波成任 (東大院農)</p>	<p>522 座長 奥 尚 Silencing of small heat shock protein results in suppression of defense-related responses to bacterial wilt pathogen <i>Ralstonia solanacearum</i> Maimbo, M., Ohnishi, K., Hikichi, Y., Yoshioka, H*, Kiba, A. (Kochi Univ., *Nagoya Univ.)</p>
<p>328 大分県で発生したPMMoV P_{1,2,3} 2株の特徴と弱毒ウイルスT219による干渉効果 ○山崎修一・森智洋*・吉松英明・久保田健嗣**・奥田充**・竹下稔*・高浪洋一* (大分農林水産研安全・*九大農・**九州沖縄農研)</p>	<p>408 座長 兼松聡子 ハイボウイルス代表種 <i>Cryphonectria hypovirus</i> 1-EP713 (CHV1-EP713) のオープンリーディングフレームBの翻訳機構 郭立華・荒木浩行・○鈴木信弘 (岡山大資生研)</p>	<p>523 <i>Ralstonia solanacearum</i> におけるPhcAによる <i>prhIR</i> の発現抑制 ○吉用武史・木場章範・大西浩平*・曳地康史 (高知大農・*高知大遺伝子)</p>

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
10:24	<p>129 日本産各種ウリ科植物つる枯病菌 (<i>Didymella bryoniae</i>) の不完全世代 の所属と性質○古川聡子・松崎聖史*・松 本 工**・小林享夫***・岸 國平****(首 都大学東京生命・*愛知農総試・**神戸植 物防疫所・***東京農大開発・****農業技術 協会)</p>	<p>228 ラフレモンThaumatin-like protein遺 伝子(<i>RlemTLP</i>)の単離とその機能解析 金奉圭・○福元健志・多々納智・秋光 和也 (香川大農)</p>
10:36	<p>130 ピタヤ茎腐れ症から分離された3種病 原系状菌 ○宮平奈央・田場 聡・諸見里善一 (琉球大農)</p>	<p>229 ラフレモンascorbate peroxidase遺伝 子(<i>RlemAPX1</i>)の単離とその機能解析 ○古閑篤史・秋光和也 (香川大農)</p>
10:48	<p>131 <i>Monosporascus cannonballus</i>による キュウリ黒点根腐病(新称) ○岩館康哉・猫塚修一 (岩手農研セ)</p>	<p>230 The effect of acibenzolar-S-methyl on phenolics level during induced systemic resistance against anthracnose fungus on cucumber plants○Lin, T. C.*,**, Ishizaka, M.* and Ishii, H.*(NIAES, **Univ. Tsukuba)</p>
11:00	<p>132 座長 青木孝之 トウカエデうどんこ病菌 <i>Erysiphe</i> (<i>Uncinula</i>) <i>nankinensis</i> の完全世代 形成と <i>Sawadaea</i> 属への転属○高松 進・山本秀夫*・Rangsi Divarangkoon**・伊藤充輝・馬場浩子 (三重大生資・*岡山市津島本町・** チェンマイ大農)</p>	<p>231 座長 田中千尋 宿主特異的ACT毒素のデカトリエン酸 以外の構造の生合成を担う遺伝子群○ 網代直哉・宮本蓉子・小川将興・増中 章*・柘植尚志**・山本幹博***・秋光 和也(香川大農・*現北海道農研・**名 大院生農・***岡山農大)</p>
11:12	<p>133 <i>Rhizoctonia solani</i> Kühnによるオカ ヒジキの立枯病(新称) ○萩原奈央子・窪田昌春・加藤栄美 *・西 和文 (野菜茶研・*山形県置賜総合支庁)</p>	<p>232 トマト褐色輪紋病菌および宿主特異的 GCT毒素に対するトマト野生種の感受 性○川中大輔・山岸大輔・江草真由 美・塩見 寛*・有江 力**・尾谷 浩・児玉基一朗(鳥取大農・*タキイ 種苗・**農工大院農)</p>
11:24	<p>134 ミツバ種子から分離される立枯病菌 (<i>Rhizoctonia solani</i>) の菌系融合群 と培養型 ○藤田智美・百町満朗* (愛知農総試・*岐阜大応生)</p>	<p>233 RNAサイレンシングを用いた宿主特異 的ACT毒素生合成遺伝子 <i>ACT2</i> の機能解 析 ○宮本蓉子・増中 章*・柘植尚志**・ 山本幹博***・秋光和也(香川大農・* 現北海道農研・**名大院生農・***岡山 大農)</p>
11:36	<p>135 <i>Rhizoctonia solani</i> トマト葉腐病菌系 はAG-3の新しいサブグループに分類さ れる ○国永史朗・佐山 玲*・横沢菱三 (北医療大・*秋田農試)</p>	<p>234 Purification of a New Host-Specific Protein Toxin from Spore Germination Fluid of <i>Alternaria brassicae</i>○Parada Jaco, R. Y., Oka, K., *Kodama, M.* and Otani, H.*(UGSAS and *Fac. of Agr., Tottori Univ.)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>329 L4遺伝子を打破する新型トウガラシマイルドモットルウイルス系統の弱毒ウイルス候補株の作出 ○大木健広・神田絢美・津田新哉（中央農研）</p> <p>330 トウガラシマイルドモットルウイルス（PMMoV）の感染を抑制する土壌微生物の分離・同定 ○池頭靖夫・紀岡雄三・野口勝憲・津田謙次・津田新哉* （片倉チッカリン(株)・**中央農研）</p> <p>331 土壌微生物が保有するトウガラシマイルドモットルウイルス感染抑制機能の解析 ○浜田博幸・藤澤一郎*・池頭靖夫**・紀岡雄三**・大木健広・津田新哉 （中央農研・**鯉淵学園・**片倉チッカリン）</p>	<p>409 Rearrangements of the Mycoreovirus 1 genome segments induced by the papain-like protease p29 of the prototype hypovirus CHV1-EP713 ○Sun L.-Y., and Suzuki, N.(RIB, Okayama Univ.)</p> <p>410 Screen for host factors involved in hypovirus symptom expression. ○Faruk, M. I. and Suzuki, N. (RIB, Okayama Univ.)</p>	<p>524 Inventory analysis of genes affecting the <i>hrp</i> regulon expression in <i>Ralstonia solanacearum</i> ○Zhang, Y., Yoshimochi, T., Kiba, A., Hikichi, Y., Ohnishi, K. (Kochi University)</p> <p>525 青枯病菌の<i>hrp</i>遺伝子群の株間における比較解析 Liu Yingqin・曳地康史*・木場章範*・○大西浩平**（愛媛連大農・*高知大農・**高知大総研センター）</p> <p>526 <i>Pseudomonas cichorii</i>によるレタス腐敗病の発病過程におけるMAPKカスケードの関与 ○川上拓・木場章範・大西浩平*・曳地康史 （高知大農・*高知大遺伝子）</p>
<p>332 座長 守川俊幸 土壌診断によるジャガイモモップトップウイルスの発生状況調査 ○眞岡哲夫・中山尊登・畑谷達児*・津田昌吾・不破秀明**・清水基滋***・森元幸(北農研・*北大院農・**種管セ中央・***道立十勝農試)</p> <p>333 主要ばれいしょ品種のジャガイモ塊茎褐色輪紋病に対する抵抗性の品種間差異 ○中山尊登・眞岡哲夫・畑谷達児*・津田昌吾・不破秀明**・清水基滋***・森元幸(北農研・*北大院農・**種管セ中央・***道立十勝農試)</p> <p>334 トルコギキョウえそ萎縮病病原ウイルス(仮称)の土壌伝染方法 ○藤永真史・宮本賢二・宮坂昌実・小木曾秀紀・守川俊幸*・夏秋知英**（長野野花試・*富山農技セ野花試・**宇都宮大農）</p> <p>335 トルコギキョウえそ萎縮病に対する熱水消毒処理の防除効果 藤永真史・宮本賢二・宮坂昌実・小木曾秀紀・○中村真人 （長野野花試）</p>		<p>527 座長 曳地康史 <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tabaci</i> におけるモータータンパク質の駆動力と欠損株の病原性 ○鍋持隆文・田口富美子・鈴木智子・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・一瀬勇規 （岡山大院自然科学）</p> <p>528 フラジェリン誘導性転写因子WRKY41によるシロイヌナズナ病害抵抗性の調節機構 ○東 邦昭・石賀康博・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・一瀬勇規 （岡山大院自然科学）</p> <p>529 <i>Pseudomonas syringae</i>のフラジェリン糖転移酵素遺伝子の機能解析 ○常見和彦・田口富美子・安田千裕・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・一瀬勇規 （岡山大院自然科学）</p> <p>530 シロイヌナズナ斑入り変異株var2の病原体応答の解析 ○青野真衣・三浦栄子・加藤裕介・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・坂本亘・一瀬勇規 （岡山大院自然科学）</p>

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
11:48		235 INF1エリシターおよび病原菌毒素による細胞死が <i>Alternaria alternata</i> の感染に及ぼす影響 ○江草真由美・山岸大輔・岡 久美子・尾谷 浩・吉岡博文*・児玉基一朗（鳥取大農・*名大院生農）
12:00		282 INF1エリシター処理ベンサミアナタバコ葉におけるペルオキシ亜硝酸イオンの生成 ○樹神博士・齋藤修平*・加藤大明・吉岡博文・道家紀志・川北一人（名大院生農・*北海道農研）
12:12		

第3会場	第4会場	第5会場
<p>411 静岡県浜松市沿岸部のネギ属作物におけるアイリスイエロースポットウイルス(IYSV)の感染状況 ○米山千温・内山徹*(静岡西部農林・*静岡農試)</p>		<p>531 細菌DNAの植物免疫誘導能の解析 ○薬師寺賢・石賀康博・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・一瀬勇規 (岡山大院自然科学)</p> <p>532 <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tabaci</i>における鉄獲得のswarming運動能に与える影響 ○川本健太郎・田口富美子・豊田和弘・稲垣善茂・白石友紀・一瀬勇規 (岡山大農)</p>

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
13:00	<p>136 座長 前川和正 ダラースポット病菌 <i>Sclerotinia homoeocarpa</i>の宿主範囲について ○一瀬尚史・小野寺忠宣・高橋謙一・井上暁子・飯嶋勉*・米山勝美(明治大農)・*明治大スポーツターフ研)</p>	<p>236 座長 阿久津克己 MAPKカスケードはNOA1 (NOS1) を介したNOとNADPHオキシダーゼを介した活性酸素種生成を制御する ○浅井秀太・大田幸士・加藤大明・川北一人・吉岡博文(名大院生農)</p>
13:12	<p>137 作付履歴がダイズ黒根腐病に及ぼす影響. ○田澤純子・山本泰由(中央農研)</p>	<p>237 ジャガイモNADPH oxidase遺伝子プロモータの制御機構 ○宮川典子・山溝千尋・石濱伸明・川北一人・吉岡博文(名大院生農)</p>
13:24	<p>138 ダイズ種子に発生した紫斑病の空間分布 ○今崎伊織**・笹原剛志*・小泉信三(東北農研)・*宮城古試・**中央農研)</p>	<p>238 PPS8のサイレンシングはジャガイモ疫病菌に対する感受性を高める ○石濱伸明・川北一人・道家紀志・吉岡博文(名大院生農)</p>
13:36	<p>139 ダイズリゾクトニア根腐病菌の病原性と伝染環 ○向島博行・関原順子・坂田清華(富山農技セ農試)</p>	<p>239 CDPKの脂質修飾部位がStrbohB依存性の活性酸素生成に関与する ○市川達士・小林光智衣・小八重善裕・川北一人・吉岡博文(名大院生農)</p>
13:48	<p>140 座長 富田恭範 山形県におけるセイヨウナシ輪紋病に対する最終防除時期の検討と果実感受性低下要因 ○本田浩央・菅野智成*・**・生井恒雄* (山形農総研セ農生産技試)・*山形大農)・**現横浜植防)</p>	<p>240 恒常活性型StGDPK5を導入したジャガイモ植物は疫病菌に耐性を示す ○小林光智衣・吉岡美樹・川北一人・道家紀志・吉岡博文(名大院生農)</p>
14:00	<p>141 セイヨウナシ黒斑病の越冬感染源としての枝皮目の可能性 ○棚橋 恵・中野太佳司・児玉基一郎*・尾谷 浩* (新潟農総研園研セ)・*鳥取大農)</p>	<p>241 AAL毒素で誘導される細胞死にはエチレン生合成およびその作用シグナル伝達が関与する ○水野貴仁・間瀬圭介・川北一人・道家紀志・森 仁志・児玉基一郎*・吉岡博文(名大院生農)・*鳥取大農)</p>
14:12	<p>142 ビョウヤナギの葉に発生する数種病害の発生動向 ○鈴木朝恵・矢口行雄・小林享夫* (東農大地域環境)・*東農大国際)</p>	<p>242 A novel active oxygen inducer from <i>Phytophthora infestans</i> triggers hypersensitive response and oxidative burst in potato cells ○Furuichi*, N., Yokokawa**, K., Hatsugai**, N., Hiratsuka***, K. and Kimishima****, E. (*Center for Transdisciplinary Research, Niigata Univ. **Grad.Sch.Sci.Niigata Univ. ****Yokohama Kokuritsu University *****Yokohama Plant Prot.Sta.)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>336 座長 藤永真史 <i>Olpidium bornovanus</i>遊走子のし囊化過程におけるメロンえそ斑点ウイルス局在の変遷 ○望月知史・大木健広・神田絢美・大西 純*・津田新哉 (中央農研・*野茶研)</p> <p>337 我が国のウリ科植物栽培圃場から分離した<i>Olpidium bornovanus</i>が示す遺伝系統に特異的な生物学的特性 ○神田絢美・大木健広・望月知史・津田新哉 (中央農研)</p> <p>338 Tetrazolium bromideを用いた<i>Olpidium virulentus</i>休眠胞子の活性化染色 ○守川俊幸・堀井香織 (富山農技セ野菜花き)</p> <p>339 圃場における食酢のレタスビッグベイン病に対する発病抑制効果 ○相野公孝・小林尚司・岩本豊・神頭武嗣・松浦克成・津田新哉* (兵庫農技総セ・*中央農総研)</p>	<p>450 座長 竹中重仁 初期遺伝子発現プロファイルからのバクテリア増殖のモデル化および防御応答マーカー遺伝子の探索○佐藤昌直*、**・Lisa Lenarz-Wtatt**・渡辺雄一郎*・片桐文章** (*東大院・総合文化, **Dept. of Plant Biology, Univ. of Minnesota)</p> <p>451 一過性発現系によるシロイヌナズナ病害応答性遺伝子<i>BIK1</i>プロモーターの発現解析 ○盤指豪・笹野佳奈子・輪湖奈央・田中恒之・小野祥子・平塚和之 (横浜国大院環境情報)</p> <p>452 シロイヌナズナ<i>MPK3</i>遺伝子プロモーターと相互作用するWRKY転写因子の探索 ○田中恒之・盤指 豪・笹野佳奈子・小野祥子・平塚和之 (横浜国大院環境情報)</p> <p>453 防御関連遺伝子群の発現制御におけるイネ3量体Gタンパク質の役割 原修平・白井太一・藤澤由紀子・岩崎行玄・○加藤久晴 (福井県立大)</p>	<p>533 座長 津下誠治 軟腐性<i>Erwinia</i>属細菌における鉄輸送遺伝子の病原性に果たす役割 ○市橋政季・松岡圭介・Balakrishnan Venkatesh・平田久笑・露無慎二 (静岡農)</p> <p>534 The PhoP-PhoQ Two-Component System Regulates the Pellicle Formation by Controlling the Cellulose Synthase Subunit of <i>Dickeya dadantii</i> 3937 ○Haque, M.M., Hirata, H. and Tsuyumu, S. (Faculty of Agriculture, Shizuoka Univ.)</p> <p>535 カンキツかいよう病菌におけるα-amylase及びcellulaseのType III調節因子による制御 ○山崎明広・平田久笑*・露無慎二** (静岡大/岐連大・*静岡大・**静岡大/静岡大院)</p> <p>536 Role of Hrp pilus on the pathogenicity in <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>citri</i> ○Aini, L.Q., Hirata, H.*, and Tsuyumu, S. (Graduate School for Science and Technology, Shizuoka Univ.*Faculty of Agriculture, Shizuoka Univ.)</p>
<p>340 座長 河野伸二 ズッキーニ黄斑モザイクウイルスの地域性と干渉効果の迅速評価 ○久野修司・王 蔚芹・西川尚志*・奥田誠一・小坂能尚**・夏秋知英 (宇都宮大農・*宇都宮大遺伝子・**京都農資セ)</p>	<p>454 イネのツマグロヨコバイ抵抗性遺伝子<i>Grh3</i>の単離とその作用機構 ○小八重善裕・水上優子*・芦荊基行・松岡 信**・矢野昌裕***・吉岡博文 (名大院生農・*愛知農総試・**名大生物機能開発・***生物研)</p>	<p>537 カンキツかいよう病菌のかいよう形成因子は細菌ばかりでなく他種病原体による過敏感反応 (HR) をも抑制する ○石川 (末廣) 典子・藤川貴史*・工藤響子・平田久笑・露無慎二 (静岡大農・*農生資源)</p>
<p>341 効率的選抜法により得られたズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 弱毒株のキュウリにおける防除効果小堀 崇・佐藤英典*・奈尾雅浩**・久野公子***・中村茂雄*・塩見 寛****・○小坂能尚 (京都農資セ・*宮城農園研・**愛媛農試・***宮崎農総試・****タキイ種苗)</p>	<p>455 イネ培養細胞のエリシター応答発光への過酸化水素の関与 ○影山智津子・加藤公彦*・稲垣栄洋*・伊代住浩幸* (静岡柑試・*静岡農試)</p>	<p>538 座長 一瀬勇規 イネ白葉枯病菌におけるHrpXoに発現制御される6つの新奇エフェクター○古谷綾子*・川畑真人**・中山 健*・加来久敏*、** *・奥 尚****・落合弘和*・津下誠治** (*生物研・**京府大院農・*** (現)サカタのタネ・****県立広島大生命環境)</p>
<p>342 2種ズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 弱毒株の効率的な選抜と諸特性について○辻井みや子・小堀 崇・梁宝成*・久野修司**・王 蔚芹**・夏秋知英**、***・小坂能尚 (京都農資セ・*微生物化学研究所・**宇都宮大農・***宇都宮大遺伝子)</p>	<p>456 過酸化水素が誘導するイネ培養細胞のバイオフォトン特性 ○加藤公彦・影山智津子*・稲垣栄洋・伊代住浩幸 (静岡農試・*静岡柑試)</p>	<p>539 イネ白葉枯病菌に見出される既知エフェクターホモログとそれらの植物細胞内への分泌○奥 尚*・高岡美菜子*・南部羽蘭**・古谷綾子***・落合弘和***・加来久敏***、****・津下誠治** (*県立広島大生命環境・**京府大院農・***生物研・**** (現)サカタのタネ)</p>

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
14:24	<p>143 座長 竹原利明 メロン黒点根腐病菌の子のう胞子発芽を促進する土壌細菌 中野麻美・宇佐見俊行・○宍戸雅宏 (千葉大園)</p>	<p>243 座長 川北一人 <i>Medicago truncatula</i> 懸濁培養細胞における病原菌応答—培養細胞ならびに分化組織間の比較 ○松崎成剛・松尾和美・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀 (岡大院自然科学)</p>
14:36	<p>144 トマト斑点病の感染・発病における温度と濡れ時間の影響 ○丸野内 勉・藤 晋一・内藤 秀樹・古屋 廣光 (秋田県大生資)</p>	<p>244 <i>Medicago truncatula</i> アピラーゼ遺伝子の <i>Nicotiana benthamiana</i> における異種発現 ○長井秀明・川上恵梨子・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀 (岡大院自然科学)</p>
14:48	<p>145 イチゴ炭疽病菌の土壌伝染による苗の発病 ○岡山健夫・平山喜彦・吉村あみ・西崎仁博 (奈良農総セ)</p>	<p>245 <i>Nicotiana benthamiana</i> からの <i>Rer1</i> 遺伝子のクローニングと病原糸状菌による感染応答 ○田中康博・吉廣美由紀・一瀬勇規・豊田和弘・白石友紀 (岡大院自然科学)</p>
15:00	<p>146 ホモブシス根腐病菌に汚染された土壌までの深さがキュウリの萎凋症状の発症に及ぼす影響 ○永坂厚・門田育生 (東北農研)</p>	<p>246 ベンサミアーナタバコにおけるウリ類炭疽病菌 <i>classd1</i> 破壊株の感染抑制にはSIPK/WIPKが関与する ○田中茂幸・石濱伸明*・吉岡博文*・辻 元人・津下誠治・久保康之 (京府大院農・*名大院生農)</p>
15:12	<p>147 子のう胞子によるイチゴ炭疽病 (<i>Glomerella cingulata</i>) の空気伝染 ○稲田 稔・古田明子・山口純一郎 (佐賀農業セ)</p>	<p>247 アブラナ科野菜類炭疽病菌の効率的な標的遺伝子破壊株の作出法の確立—アカバシ <i>mus-51</i> オルソログ遺伝子 <i>ChMUS51</i> 遺伝子の単離と <i>chmus51</i> 破壊株の性質 ○寺田 寛・坪井基枝・森 あい・辻 元人・久保康之 (京都府大院農)</p>
15:24	<p>148 植物残渣埋設土壌におけるテンサイ苗立枯病の発生生態及び土壌細菌の動態 ○太田陽子・本條均・夏秋知英・福井糧 (宇大院農)</p>	<p>248 シロイヌナズナの <i>PEN2</i> 遺伝子は、クワ炭疽病菌に対する非宿主抵抗性に関与している ○小野澤真理子・Volker Lipka *・奥野哲郎・Paul Schulze-Lefert * * * 高野義孝 (京大院農・*The Sainsbury Laboratory・**Max Planck Institute)</p>
15:36	<p>149 座長 小泉信三 イネいもち病菌の根部感染による苗いもちおよび潜在感染株の発生 ○鈴木文彦・荒井治喜・中島 隆 (九州沖縄農研)</p>	<p>249 ナシ黒斑病菌の貫穿菌糸における活性酸素種 (ROS) 生成遺伝子 <i>NoxAO</i> の機能解析 ○玄康洙・*篠木武・池田健一・中屋敷均・朴杓允 (神戸大院自然科学・*ファーマフーズ)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>343 ズッキーニ黄斑モザイクウイルス (ZYMV) 弱毒株2002の実験動物を用いた安全性評価○梁 宝成・小坂能尚*・片桐伸行・小寺郁男・中本光則**・林 純子**・安原壽雄 (微生物化学研究所・*京都農資セ・**京都動物検査セ)</p> <p>344 干渉効果の打破に関わるズッキーニ黄斑モザイクウイルス沖縄株の遺伝子 ○王 蔚芹・夏秋知英・小坂能尚*・奥田誠一 (宇都宮大農・*京都農資セ)</p>	<p>457 座長 平塚和之 INF1処理トマトにおける防御関連遺伝子の発現解析 ○ 河村陽子・長谷 修・吉岡博文*・竹中重仁**・高橋英樹 (東北大院農・*名古屋大院農・**北海道農研セ)</p> <p>458 生物防除微生物<i>Pythium oligandrum</i>のエリシタータンパク質POD-1の抵抗性誘導活性部位の解析 ○竹中重仁・高橋英樹* (北海道農研・*東北大院農)</p>	<p>540 イネ白葉枯病菌マイクロアレイの作製と遺伝子発現解析 手島 光平*, 中山 健, 沼田 慎一**, 古谷綾子, 津下 誠治***, 加来 久敏****, ○落合 弘和 (生物研, *現奈良女子大・**現福島県農業総合センター・***京都府大院農, ****現(株)サカタのタネ)</p> <p>541 シロイヌナズナの転写因子AtEBPの病害抵抗性における機能解析 ○小川太郎・田村勝徳・川合真紀・内宮博文* (東大分生研, *岩手生工研)</p>
<p>345 座長 海道真典 キュウリモザイクウイルス (CMV) RNA2ベクターとカブモザイクウイルス (TuMV) 間の <i>Nicotiana benthamiana</i> における相互作用○野口真季子・末田香恵*・末廣典子**・夏秋知英***・増田 税*・大島一里****・竹下 稔・高浪洋一 (九大院農・*北大院農・**宇都宮大遺伝子・***宇都宮大農・****佐賀大農)</p>	<p>459 生物防除微生物<i>Pythium oligandrum</i> による誘導抵抗性発現トマトの青枯病菌接種後における網羅的遺伝子発現解析○長谷 修・石原岳明・中保一浩*・津金胤昭**・柴田大輔***・竹中 重仁***・高橋英樹(東北大院農・*中央農研・**かずさDNA研・***北海道農研)</p>	<p>542 <i>Pseudomonas cichorii</i> SPC9018株の <i>hrp</i> クラスターと新たな病原性遺伝子田中将之・小柳諒・梶原茂・北條広*・大西浩平**・木場章範・○曳地康史 (高知大農・*日植防研高知・**高知大総合研セ)</p>
<p>346 Turnip mosaic virus (TuMV) との混合感染における蛍光タンパク質発現 <i>Cucumber mosaic virus</i> (CMV) ベクター間の空間的移行動態解析 ○平野恵美子・末田香恵*・末廣典子**・夏秋知英***・増田 税*・大島一里****・竹下 稔・高浪洋一 (九大院農・*北大院農・**宇都宮大遺伝子・***宇都宮大農・****佐賀大農)</p> <p>347 キュウリモザイクウイルス感染タバコの接種直上位葉におけるウイルス抑制へのRNAサイレンシングの関与 羽床明子・○中井崇史・東條元昭・大木 理 (大阪府大院生環)</p>	<p>460 糸状菌糖タンパク質エリシターにより発現誘導されるユビキチンリガーゼ LeATL6 と相互作用するタンパク質の解析 ○高橋英樹・本堂大祐・長谷 修・竹中重仁* (東北大院農・*北海道農研)</p> <p>461 植物生育促進菌類 <i>Fusarium equiseti</i> GF19-1 の培養ろ液による <i>Arabidopsis thaliana</i> のサリチル酸に依存した全身的抵抗性の誘導 ○小島英恵・Hossain, M.M.*・Sultana, F.*・久保田真弓・百町満朗 (岐大応生・*岐大連農)</p>	<p>543 座長 落合弘和 ビワがんしゅ病細菌の病原性遺伝子 <i>psvA</i> にコードされているタンパク質の C 末端部は SUMO protease 活性を有している 上運天 博 (宮崎大農)</p> <p>544 青枯病菌タイプ III エフェクターの植物細胞内機能の解析 ○向原隆文・岩渕雅樹 (岡山県生科総研)</p>
<p>348 シロイヌナズナにおけるキュウリモザイクウイルスの干渉効果 ○小野崎靖久・小堀 崇*・小坂能尚*・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農・*京都農資セ)</p>	<p>462 座長 宇佐見俊行 光のバリダマイシン A によるトマト組織中のサリチル酸蓄積に及ぼす影響 ○濱川 陽・福島すみれ・石川 亮*・仲下英雄**・寺岡 徹***・有江 力** (農工大院農・*住友化学・**理研・***農工大院共生科学技術)</p>	<p>545 カンキツかいよう病菌によるキンカンの抵抗性誘導 ○塩谷 浩 (果樹研カンキツ)</p>
<p>349 座長 小林括平 キュウリモザイクウイルス高度抵抗性を誘導する抵抗性遺伝子 RGY1 の高レベル発現 ○関根健太郎・石原岳明・川上さやか・長谷 修・高橋英樹 (東北大院農)</p>	<p>463 ナシ黒星病菌におけるDMI 剤耐性菌の出現と薬剤効力の低下 ○石井英夫・菊原賢次*・西村久美子 (農環研・*福岡農総試)</p>	<p>546 酵母抽出液 (アグリボEX) 処理によるトマト青枯病発病抑制効果 ○中保一浩・光原一朗*・大橋祐子* (中央農研・*生物研)</p>

3月29日(木) 第2日目	第1会場	第2会場
15:48	<p>150 神奈川県および熊本県から採集した野生 <i>Setaria</i>属植物種子のいもち病菌によ る感染について 梅野美穂・○山頭亜紀子・草場基章 (佐賀大農)</p>	<p>250 座長 竹内 徹 Time Release Fluorescent PCRによる キュウリホモブシス根腐病菌の土壌か らの検出 ○古屋廣光*・藤 晋一*・佐藤恵美子 *・村上洋之*・鈴木倫子**・鈴木英治 *・**・内藤秀樹* (*秋田県大生資・**CREST)</p>
16:00	<p>151 分光放射計で測定されたイネ群落の植 生指数とイネいもち病発生量との関係 ○笹原剛志・佐々木次郎 (宮城古川農試)</p>	<p>251 メンブレンフィルターを用いた水中の 植物病原菌の検出 ○渡辺秀樹・景山幸二* (岐阜農技セ・*岐阜大流域研セ)</p>
16:12	<p>152 イネ科牧草類から分離したいもち病菌 の病原性 ○荒井治喜・鈴木文彦 (九州沖縄農研)</p>	<p>253 PCR法によるイチゴ潜在感染株からの 炭疽病菌 <i>Colletotrichum</i> <i>gloeosporioides</i>の検出 ○平山喜彦・岡山健夫・鈴木健*・西 崎仁博・吉村あみ (奈良農総セ・*千葉農総研)</p>
16:24	<p>153 山形県庄内地方の水田におけるイネい もち病菌 <i>Pot2</i> 遺伝子型とレースの季節 的遷移 ○生井恒雄・平田一樹* (山形大農・*東北農政局)</p>	<p>254 DMI 剤耐性イチゴうどんこ病菌の遺伝 子診断法 大関文恵・後藤知昭*・中山喜一・○ 生井 潔・福田 充・内田景子**・ 武田敏幸**・(栃木農試・*栃木県 庁・**全農営技セ)</p>
16:36	<p>154 ムギ類赤かび病の種子伝染の証明 ○富村健太*・鈴木文彦・中島隆・吉 田めぐみ (九州沖縄農研・*現：酒類総研)</p>	<p>255 Real-time PCR法 によるキャベツバー ティシリウム萎凋病菌の定量的検出系 の圃場解析への応用 ○斎藤秀成・坂野真平*・加部武**・ 漆原寿彦**・藤村真 (東洋大生命・*東洋大植機能セ・** 群馬農技セ)</p>
16:48	<p>155 オオムギうどんこ病菌 (<i>Blumeria</i> <i>graminis</i> f. sp. <i>hordei</i>) のLife Cycleにおける第一発芽管 (Primary Germ Tube:PGT) の役割とその意義 (9) 谷口 啓・西口正通・松本 勲・○山 岡直人 (愛媛大・農)</p>	
17:00		

第3会場	第4会場	第5会場
<p>350 WRKY33過剰発現シロイヌナズナのキュウリモザイクウイルスに対する応答 ○小山内朋絵・関根健太郎・石原岳明・川上さやか・長谷 修・高橋英樹(東北大院農)</p> <p>351 キュウリモザイクウイルスサイレンシングベクターを用いたトマトACD2の解析 ○石原岳明・高橋英樹・増田 税*(東北大院農・*北大院農)</p> <p>352 イネの新規NACタンパク質遺伝子の破壊によるイネ萎縮病抵抗性の付与 ○清水 巧・吉井基泰*・山崎宗郎*・宮尾安藝雄*・廣近洋彦*・大村敏博(中央農研・*生物研)</p>	<p>464 レタスベと病菌のフェニルアמיד系殺菌剤に対する低感受性菌の発生 ○西口真嗣・廣瀬敏晴(兵庫農総セ淡路)</p> <p>465 Heteroplasmy and its role in QoI resistant field isolates of <i>Botrytis cinerea</i>.○Fountaine, J.M.*, Takahashi, K.*,**, Nishimura, K.*, Inada, M.***, and Ishii, H.*(*NIAES, **Univ. Tsukuba,***Saga Pref. Agr. Res. Center)</p> <p>466 イチゴ炭疽病菌における薬剤作用点たんぱく質遺伝子の耐性変異とその普遍性○埋橋志徳美*,**,石井英夫*・西村久美子*・鈴木 健***・田中千華***・平山喜彦***・岡山健夫***・稲田稔****・広田恵介*****・中山喜一***** (*農環研・**筑波大院生環・***千葉農総研・****奈良農総セ・*****佐賀農業セ・*****徳島農研・*****栃木農試)</p> <p>467 ボスカリドに対するキュウリ褐斑病菌 (<i>Corynespora cassicola</i>) の感受性検定法 ○宮本拓也・瀬古隆司*・富田恭範(茨城農総セ園研・* BASFアグロ)</p>	<p>547 座長 白川 隆 チャ赤焼病細菌の微小コロニー菌の特性 ○富濱 毅・西 八東(鹿児島農開発総セ)</p> <p>548 スターチス萎凋細菌病菌の土壌中での移動 ○増田吉彦・白井雄祐・大谷洋子(和歌山農総セ農試)</p> <p>549 ジャガイモそうか病発病圃場における nec1 遺伝子の量的推移について 長田大輔・小山修*・菊地健太郎・○吉田穂積(東農大生産・*日鉄環境エンジニアリング(株))</p> <p>550 鹿児島県におけるジャガイモそうか病の原因菌の調査 ○西 八東・鈴木 文彦*・尾松 直志・田代暢哉** (鹿児島農総セ・*九州沖縄農研・**佐賀果樹試)</p>
<p>353 座長 高橋英樹 リング小球形潜在ウイルスベクター感染を利用したタバコN遺伝子のサイレンシング 山形広輔*・○高橋 翼**・磯貝雅道*・吉川信幸*,** (*岩手大農・**岩手大COE)</p> <p>354 タバコモザイクウイルス (TMV) 抵抗性遺伝子産物NおよびN類似タンパク質の機能ドメインの解析 ○高俊山・鐘ヶ江弘美・滝沢香・小長谷賢一・岡野陽介・林尚美・佐々木信光・松下保彦・丹生谷博(農工大遺伝子)</p> <p>355 温度シフトバック系を用いたN遺伝子による防御機構活性化と細胞死の解析 ○加藤(山本)文子・瀬尾茂美・加藤新平・大橋祐子・光原一朗(生物研)</p> <p>356 タバコのストレス応答性MAPキナーゼであるWIPKとSIPKはジャスモン酸とサリチル酸の蓄積を制御する ○加藤新平・瀬尾茂美・大橋祐子(生物研・PROBRAIN)</p>		

第3会場	第4会場	第5会場
<p>357 テンサイ接種葉における<i>Beet necrotic yellow vein virus</i>抵抗性の 病理学および遺伝学的特性 ○玉田哲男・田口和憲*・Andika, I. B.・近藤秀樹 (岡山大資生研・*北農研)</p> <p>413 感染誘導性カルモジュリン分子種は、 細菌病及び糸状菌病に対する基礎的抵 抗性に寄与する 高島令王奈・刈田英利*・瀬尾茂美・ ○光原一朗・朽津和幸*・大橋祐子 (生物研/PROBRAIN, *東京理科大)</p>		

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
9:00	<p>156 座長 久我ゆかり セラミドホスホリルエタノールアミン 関連化合物の示す活性酸素とNOの生成 活性 ○村上友哉・伊藤靖浩*・野澤武司・ 小鹿 一・吉岡博文・道家紀志・川北 一人 (名大院生農・*名大産学官連 携)</p>	<p>256 座長 鈴木文彦 PCR-Luminex法によるMBI-D剤耐性イネ いもち病菌の診断 ○小林泰弘・石井英夫*(栃木県農業環 境指導センター・*農環研)</p>
9:12	<p>157 2006年に岩手県で分離されたMBI-D耐 性いもち病菌の<i>pot2</i> rep-PCR法および SSRマーカーによる解析 ○佐々木直子・富永朋之*・鈴木文彦**・荒 井治喜** (岩手農研・*岩手防除所・**九沖 農研)</p>	<p>257 いもち病菌小型分生子の病理学的役割 を解明するための基礎調査 ○細木直樹・中馬いづみ*・篠木武 **・池田健一・中屋敷均*・眞山滋志 *・土佐幸雄*・朴杓允(神戸大院自然 科学・*神戸大農・** (株) ファーマ フーズ)</p>
9:24	<p>158 灰色かび防除剤に対する各種耐性株の 遺伝的多様性解析 ○坂野真平・鈴木智一*・植草秀敏 **・岡田清嗣***・藤村 真* (東洋大 植物機能セ・*東洋大生命・**神奈川 農総研・***大阪食とみどり総技セ)</p>	<p>258 GFP遺伝子を導入したいもち病菌を用 いた穂いもち感染過程の顕微鏡観察 ○古賀博則*・土肥浩二**・森 正之 *・**・芦澤武人***・有江 力**** (* 石川県立大・**JST/CREST・***中央農 研・****東京農工大)</p>
9:36	<p>159 灰色かび病菌におけるHog1型MAPK遺伝 子の機能解析 ○小林甫・泉津弘佑・田中千尋 (京大 農)</p>	<p>259 リアルタイムPCR法によるイネ稲こう じ病菌の定量法の検討 ○芦澤武人・高橋真実・森脇丈治・平 八重一之 (中央農研)</p>
9:48	<p>160 座長 相野公孝 マンゼブ剤と殺虫剤との混用散布がカ ンキツ黒点病の防除効果に及ぼす影響 ○三好孝典・清水伸一(愛媛果樹試)</p>	<p>260 白紋羽病菌W779株の病原力低下に関与 するdsRNA ○佐々木厚子・中村仁・吉田幸二・島 根孝典 (果樹研)</p>
10:00	<p>161 ハウスミカンの果実腐敗を引き起こす こうじかび病菌<i>Aspergillus niger</i>の イミノクタジン酢酸塩およびベノミル に対する感受性と両剤の混用による抗 菌活性の増大 ○田代暢哉・井手洋一 (佐賀果樹試)</p>	<p>261 Fluorescence <i>in situ</i> hybridization による白紋羽病菌の特異的迅速検出法 の開発 ○原口真実・中森 学・名嶋裕子・井手洋 一*・田代暢哉*・草場基章・上野大介・井 上興一・染谷 孝 (佐賀大農・*佐賀県果樹 試験場)</p>
10:12	<p>162 ナシ黒星病の防除で使用するDMI剤 ‘ジフェ ノコナゾール水和剤’ に対する各種薬剤の 混用が防除効果に及ぼす影響○井手洋一・ 富田恭範*・大谷徹**・宮崎英一郎***・田 代暢哉 (佐賀果樹試・*茨城農総セ園研・** 千葉暖地園研・***大分農研セ)</p>	<p>262 座長 辻 元人 トマト萎凋病菌のピルビン酸脱炭酸酵 素遺伝子のクローニングと破壊株の作 出 ○本山 愛・中原光一*・金山典生*・ 寺岡 徹・有江 力 (農工大院農・*サントリー)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>358 座長 三瀬和之 RNAサイレンシング発動クリ朧枯病菌株の性格付け ○丸山和之・鈴木信弘 (岡山大学資生研)</p> <p>359 プロトプラストを使用したウイルスのサイレンシングサプレッサーの機能解析 ○志村華子・目黒文乃・増田税 (北大院農)</p> <p>360 ラッカセイわい化ウイルス(PSV) 2bタンパク質のRNAサイレンシングのサプレッサー能解析 ○根津 修・平塚和之*・桑田 茂**・日比忠明***・宇垣正志・鈴木 匡(東大院新領域)・*横浜国大院環境情報・**明治大農・***玉川大学術研)</p> <p>361 キュウリモザイクウイルス(CMV) 2bタンパク質とジャガイモYウイルス(PVY) HC-ProとのRNAサイレンシング抑制能の比較 ○塩田 聡・大谷 肇・根津 修*・鈴木 匡*・桑田 茂 (明治大農・*東大院新領域)</p>	<p>468 座長 石井英夫 保護殺菌剤を主体としたナスすすかび病の防除体系 ○山口純一郎・稲田 稔・古田明子 (佐賀農業セ)</p> <p>469 赤かび病抵抗性弱コムギ品種「ゆきちから」の防除時期の検討 ○大場淳司 (宮城古川農試・岩手連大)</p> <p>470 実生苗を用いたイチゴ炭そ病抵抗性検定法 ○高山智光・曾根一純 (九州沖繩農研)</p> <p>471 カーネーション萎凋細菌病菌 <i>Burkholderia caryophylli</i> の新選択培地の開発 ○川西剛史*・植松清次**・西村香保里***・大谷 徹**・田中(三輪)千華**・濱本 宏*・難波成任* (*東大院農・**千葉農総研暖地・***高知県園芸連)</p>	<p>551 座長 對馬誠也 リンゴ根頭がんしゅ病の発生実態とアグロバクテリウム・ラジオバクター剤の防除効果 ○福士好文・對馬由記子・赤平知也・雪田金助 (青森農林総研りんご試)</p> <p>552 非病原性 <i>Agrobacterium vitis</i> VAR03-1株のブドウ根頭がんしゅ病に対する圃場での防除効果と処理条件の検討 ○川口 章・井上幸次 (岡山農試)</p> <p>553 カスガマイシン耐性イネもみ枯細菌病菌の出現 ○堀 武志・黒田智久・石川浩司 (新潟農総研作物研)</p> <p>554 モモせん孔細菌病に対する秋期の枝における感染及び数種殺菌剤の防除効果 ○菅野英二・尾形正・瀧田誠一郎 (福島農総セ果研)</p>
<p>362 座長 増田 税 スイカ緑斑モザイクウイルスの129Kタンパク質によるRNAサイレンシングの抑制：強弱両系統の比較 ○Chen Hui・山岡直人・西口正通 (愛媛大農)</p> <p>363 非膜結合型のトマトモザイクウイルス複製タンパク質はRNAサイレンシングの抑制に関与する ○薦田(萩原)優香*, ***・平井克之**, ***・飯哲夫*, ***・石川雅之*, *** (*JST CREST・**京大院理・***生物研)</p>	<p>472 <i>Lenzites</i> sp. によるイネ籾殻分解に影響する多様な籾殻付着菌 ○渡邊恒雄・中村和憲 (産総研)</p> <p>473 非培養法による精米関連微生物の多様性解析 ○池田成志・藤 晋一*・佐藤敏郎*・古屋廣光*・内藤秀樹*・伊藤 希**・江面 浩**・南澤 究***・藤村達人** (NITE-DOB・*秋田県立大・**筑波大遺伝子・***東北大院生命科学)</p>	<p>555 ウリ科野菜の果実汚斑細菌病に対する各種農薬の種子消毒効果 ○原一晃・白川隆*・氷上涼子・島津樹一 (ナント種苗・*野菜茶研)</p> <p>556 有機肥料を使った養液栽培とトマト青枯病抑制効果 ○篠原信 (野菜研)</p>
<p>364 土壌伝染性ウイルスBNYVVおよびTRVは根において特異的にRNAサイレンシングを抑制する ○Andika, I. B.・近藤秀樹・玉田哲男 (岡山大学資生研)</p>	<p>474 座長 植草秀敏 ハウスビワの果実腐敗に対する耕種的対策の効果 ○菅 康弘・宮崎俊英・村木満宏* (長崎果樹試・*長崎県農林部)</p>	<p>557 座長 畦上耕児 バクテリオファージを用いた青枯病菌 (<i>Ralstonia solanacearum</i>) の検出・防除システムの開発に向けて ○藤江 誠・川崎 健・藤原亜希子・宇佐美昭二・山田 隆 (広大院先端研)</p>

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
10:24	<p>163 二条オオムギにおける赤かび病防除適期の再検討 ○吉田めぐみ・中島隆・荒井治喜・鈴木文彦・富村健太* (九州沖縄農研・*現：酒類総研)</p>	<p>263 Amplified fragment length polymorphism (AFLP) 法による <i>Verticillium dahliae</i> の病原性系統特異的DNA配列の探索 ○宇佐見俊行・雨宮良幹 (千葉大園)</p>
10:36	<p>164 コムギ赤かび病によるかび毒蓄積を抑制するための薬剤散布適期 ○中島隆・吉田めぐみ・荒井治喜・鈴木文彦・富村健太* (九州沖縄農研・*現：酒類総研)</p>	<p>264 灰色かび病菌 (<i>Botrytis cinerea</i>) の三量体Gタンパク質 α サブユニット (Bcg3) はグルコース感知を通じての病原性発現に関与する ○長田茂穂・中島雅己・阿久津克己 (茨城大農)</p>
10:48	<p>165 座長 山口純一郎 気象データを用いたナシ黒星病の防除支援システムの開発 (1) ○牛尾進吾・金子洋平・大谷徹・竹内妙子 (千葉農総研)</p>	<p>265 イチゴから分離された <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> の遺伝子多型と病原性 ○鈴木 健・田中千華・伊東靖之・植松清次・石井英夫*・平山喜彦**・岡山健夫** (千葉農総研・*農環研・**奈良農総セ)</p>
11:00	<p>166 気象データを用いたナシ黒星病の防除支援システムの開発 (2) 「梨病害防除ナビゲーション」の開発 牛尾進吾・○金子洋平・大谷徹・梅本清作*・竹内妙子 (千葉農総研・*千葉県病害虫防除所)</p>	<p>266 Suppression Subtractive Hybridization法により得られたイネごま葉枯病菌ロドプシン様遺伝子の解析 ○木原淳一・森脇明弘・田中のぞみ・上野 誠・荒瀬 榮 (島根大生資)</p>
11:12	<p>167 Isolation, Screening, and Identification of Fungal Epiphytes as Biocontrol Agents of Banana Postharvest Disease Pathogens ○Alvindia, D. G.,*** Hirooka, Y.,* and Natsuaki, K. T. (*BPRES, Philippines,** Tokyo Univ. Agric.)</p>	<p>267 トウモロコシごま葉枯病菌の遺伝学的研究 (32) トウモロコシごま葉枯病菌のレスポンスレギュレータ ChSsk1 および ChSkn7 は高浸透圧ストレス適応と薬剤感受性を相加的に制御している ○泉津弘佑・吉見啓・田中千尋 (京大院農)</p>
11:24	<p>168 亜リン酸液肥によるコマツナ及びチンゲンサイ白さび病への作用 ○矢野景子・島本廉*・前川和正**・広田恵介 (徳島農技セ・*大塚化学・**兵庫農総セ)</p>	<p>268 <i>Colletotrichum acutatum</i> のベノミル耐性はCaBEN1により制御される β-チューブリン遺伝子の過剰発現に起因する ○中畝良二・中野正明 (農研機構果樹研)</p>
11:36	<p>169 黒すす病菌汚染ブロッコリー種子の乾熱消毒条件の検討 ○窪田昌春・西 和文 (野菜茶研)</p>	

第3会場	第4会場	第5会場
<p>365 <i>Beet necrotic yellow vein virus</i> p31の根特異的サイレンシング抑制効果 Rahim, M. D.・Andika, I. B.・○近藤秀樹・玉田哲男 (岡山大資生研)</p>	<p>475 雨よけ資材との併用による不織布灌水法のイチゴ炭疽病伝染抑制効果 ○米本謙悟・広田恵介・三木敏史・今井健司・山下ルミ・板東一宏 (徳島農技セ)</p>	<p>558 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するFf-型ファージRSS1, RSM1の宿主特異性, 宿主溶原化, 宿主病原性変化に関する研究 ○山田 隆・川崎 健・藤原亜希子・宇佐美昭二・藤江 誠 (広大院先端研)</p>
<p>366 座長 石川雅之 <i>Melandrium yellow fleck virus</i> (MYFV)はシロイヌナズナS96に無病徴感染し, 他のプロモウイルスと異なる特徴的なゲノムRNA配列を持つ ○植林大樹・岩橋福松・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之 (京大院農)</p>	<p>476 シリカ資材によるイネいもちの防除 ○武田和男・松浦陽子*・田村 幸之*・堀 洋一*・山下 亨 (長野農事試*・協友アグリ(株))</p>	<p>559 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するファージRSS1, RSM1の有効利用を目的とした遺伝子組み換え ○川崎 健・薩摩 英希*・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆 (広大院先端研*・工大工)</p>
<p>367 <i>Spring beauty latent virus</i> (SBLV)感染シロイヌナズナに誘導される全身えそ病徴の発現に関わる遺伝子座SSB1のフィンマッピングと候補遺伝子のクローニングおよび構造解析○猿渡洋介・林 瑞恵・阿津川克仁・岩橋福松・藤崎恒喜*・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之 (京大院農*・現生物研)</p>	<p>477 ネギ白絹病に対する各種薬剤の防除効果とネギ黒腐菌核病に対する土壌還元消毒による防除の可能性 ○ 富田恭範・江口郁恵*・宮本拓也・小河原孝司・長塚 久 (茨城農総七園研*・茨城農総セ坂東普セ)</p>	<p>560 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するP2型ファージRSA1のゲノム解析 ○藤原亜希子・川崎 健・藤江 誠・宇佐美昭二・山田 隆 (広大院先端研)</p>
<p>368 <i>Spring beauty latent virus</i> (SBLV)感染によって誘導される全身えそ病徴発現の軽減したシロイヌナズナS96変異体におけるSSB1候補遺伝子中のミスセンス変異の同定および発現経路の解析○林 瑞恵・岩橋福松・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之 (京大院農)</p>	<p>478 アブラナ科野菜軟腐病に対するキチンの発病抑制効果 ○門田育生・石川亮*・豊田真司** (東北農研*・住友化学**・焼津水産化学工業)</p>	<p>561 青枯病菌<i>Ralstonia solanacearum</i>に感染するバクテリオファージRSL1の塩基配列決定及び解析 ○佐藤 聡一・川崎 健*・藤江 誠*・宇佐美昭二*・山田 隆* (工大工*・広大院先端研)</p>
<p>369 <i>Spring beauty latent virus</i> (SBLV)感染シロイヌナズナに誘導される全身えそ病徴の発現に関わるSSB1候補遺伝子の一過的発現による遺伝子機能解析 ○岩橋福松・林 瑞恵・猿渡洋介・植林大樹・海道真典・奥野哲郎・三瀬和之 (京大院農)</p>	<p>479 座長 黒田克利 白紋羽病菌の殺菌に必要な積算温度と温水処理時の土壌温度積算値 ○江口直樹・中村仁*・徳竹浩文**・山岸菜穂・原廣美 (長野南信試*・果樹研**・エムケー精工(株))</p>	<p>562 座長 土屋健一 イネもみ枯細菌病菌<i>Burkholderia glumae</i>の芳香族酸に対する走化性 ○田村季実子・對馬誠也 (農環研)</p>
<p>370 座長 光原一朗 カボチャのえそ症状とキノアの局部病斑形成を決定するズッキーニ黄斑モザイクウイルスの遺伝子 ○関口貴義・王蔚芹・小坂能尚*・奥田誠一・夏秋知英 (宇都宮大農*・京都農資セ)</p>	<p>480 銀担持繊維を用いた積層濾過式フィルターによる養液栽培培養液殺菌効果 ○草刈眞一・山下博之* (大阪食とみどり技セ*・金井重要工業株式会社)</p>	<p>563 セジロウンカの加害によってイネに誘導される白葉枯病抵抗性 ○佐藤雅・五味剣二*・佐々木克友*・大橋祐子*・菅野紘男** (九州沖縄農研*・農生資研**・カルフォルニア大学リバーサイド校)</p>
<p>371 <i>Capsicum</i>属植物のウイルス誘導性落葉にともなう宿主遺伝子発現の時空間的変動 ○小林括平・宗村郁子・坂本勝・富田麗子・浜田博幸* (岩手生工研*・現中央農研)</p>	<p>481 誘電分極体静電場スクリーンによるうどんこ病菌分生子の捕捉 ○松田克礼・池田大樹・野々村照雄・金原淳司*・草刈眞一**・豊田秀吉 (近畿大農*・カゴメ(株)**・大阪府食とみどり技セ)</p>	<p>564 セジロウンカの加害によってイネに誘導される遺伝子の網羅的解析 ○五味剣二・佐藤雅*・大橋祐子 (農生資研*・九州沖縄農研)</p>

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
11:48	170 収穫後の果梗部熱処理によるマンゴー 軸腐病の防除 ○澤岨哲也・比嘉 淳*・河野伸二・ 大城 篤・田場 聡**・諸見里善一** (沖縄農研セ・*沖縄農研セ名護・** 琉球大農)	
12:00		
12:12		
12:24		

第3会場	第4会場	第5会場
<p>372 エンドウにおいてクローバー葉脈黄化ウイルスが誘導する全身性の細胞死とRNA silencing suppressor活性の関係 ○厚見剛・和田朋子・Yambao, M. L. M.・中原健二・増田税・上田一郎(北大院農)</p> <p>412 Spreading of RNA silencing through grafting in transgenic plants with the coat protein gene of Sweet potato feathery mottle virus ○Haque, N. A. K. M., Tanaka, Y., Sonoda, S., and Nishiguchi, M.(Fac. Agr., Ehime Univ. *Wakasa Wan Energy Res. Cent. **Res. Inst. Biosci., Okayama Univ.)</p>	<p>482 誘電分極体静電場スクリーンによるタバココナジラミの捕獲○ 田中徳夫・松田克礼・加藤栄子・野々村照雄・金原淳司*・井村岳男*・本多健一郎***・草刈眞一****・豊田秀吉(近畿大農・*カゴメ総研・**奈良農技セ・***野菜茶研・****大阪府食とみどり技セ)</p> <p>483 オゾン発生型誘電分極静電場スクリーンによる青枯病菌および根腐萎凋病菌の殺菌○清水邦彦・松田克礼・野々村照雄・池田大樹・田村徳宏・草刈眞一*・金原淳司**・豊田秀吉(近畿大農・*大阪府立食とみどりの総合技セ・**カゴメ総合研)</p> <p>484 局部静電場照射によるトマトうどんこ病菌菌叢の駆除 児玉達矢・松田克礼・○野々村照雄・草刈眞一*・金原淳司**・豊田秀吉(近畿大農・*大阪府立食とみどりの総合技セ・**カゴメ総合研)</p> <p>500 イチゴうどんこ病, キュウリうどんこ病に対する温水散布の防除効果 ○山岸菜穂・江口直樹・徳竹浩文*・原廣美(長野南信試・*エムケー精工(株))</p>	

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
13:00	<p>171 座長 小坂橋基夫 <i>Cucumis</i>属野生種の台木利用によるメロンつる割病防除の可能性 ○小河原孝司・金子賢一・半田智一・高津康正*・坂田好輝**・富田恭範(茨城農総セ園研・*茨城農総セ生工研・**野茶研)</p>	<p>269 座長 荒井治喜 Duplication of CD Chromosome in the Intraspecific Protoplast Fusants of <i>Nectria haematococca</i> MPVI. ○Sadeghi Garmaroodi, H. and Taga, M. (岡山大院自然科学)</p>
13:12	<p>172 微生物資材の各種糸状菌に対する遠隔抗菌活性 ○案浦謙二・上野大介・井上興一・染谷孝(佐賀大農)</p>	<p>270 うどんこ病菌の長期凍結保存方法に関する研究(2)種々のうどんこ病菌の凍結保存の可能性 ○佐藤幸生・馬田寛子・佐藤豊三*・富岡啓介*(富山県立大学短大部・*独法生資研ジーンバンク)</p>
13:24	<p>173 緑肥作物のすき込みとコンポスト施用によるトマト萎凋病の発病抑止効果 ○大野奈々子・雨宮良幹(千葉大園)</p>	<p>271 <i>Botrytis tulipae</i>における菌核の形成機構について ○高橋真理子・長田茂穂・松本美奈・山本知代・中島雅己・阿久津克己(茨城大農)</p>
13:36	<p>174 <i>Trichoderma</i>菌資材を用いた体系処理によるダイズ黒根腐病, 茎疫病の発病抑制 ○前川和正・仲川晃生*・相野公孝・近藤彰宏**・伊豆進** (兵庫農総セ・*中央農研・**出光興産)</p>	<p>272 <i>Botrytis cinerea</i> における受精過程の観察について ○福森庸平・中島雅己・阿久津克己(茨城大農)</p>
13:48	<p>175 土壌中のミョウガ根茎腐敗病菌の生息深度と防根透水シート利用による本病防除の試み ○矢野和孝・竹内繁治・高橋尚之(高知農技セ)</p>	<p>273 チャ炭疽病菌の人工基質上における感染器官形成 ○山田憲吾・園田亮一(野菜茶研)</p>
14:00	<p>176 ホウレンソウ萎凋病に対するマイクロ波土壌消毒効果 ○仲川晃生・越智直・竹原利明*・谷脇憲・加藤仁・山下正照** (中央農研, *現, 近中四農研, ** (株)セルテックプロマネジメント)</p>	<p>274 座長 木原淳一 キビ炭疽病菌に対するコムギの抵抗性遺伝子の検出 ○木口奏・眞山滋志・土佐幸雄(神大農)</p>
14:12	<p>177 座長 中島隆 北海道の秋まき小麦における赤かび病およびDON汚染低減のための効率的薬剤散布回数検討 ○小澤徹(道立十勝農試)</p>	<p>275 アズキ落葉病とアズキ萎凋病の抵抗性遺伝子の連鎖解析 ○武田藍・鈴木孝子*・竹内徹*・藤田正平**・島田尚典***・近藤則夫・内藤繁男(北大院農・*道立中央農試・**道立上川農試・***道立十勝農試)</p>

第3会場	第4会場	第5会場
<p>373 座長 鈴木 匡 感染タバコの葉原基ならびに新展開葉におけるキュウリモザイクウイルスの分布 ○東 方・Sunpapao, A.・東條元昭・大木 理 (大阪府大院生環)</p> <p>374 TMV感染に应答するユビキチン系因子の解析 ○滝澤真理・ニエバス マリア ソレダー*・渡辺雄一郎 (東大院総合分化・*東大院理)</p> <p>375 キュウリモザイクウイルスD8系統のRNA2はトマト全身感染葉の激しい奇形と糸葉症状の誘導に關与する ○高見圭司・竹下 稔・高浪洋一 (九大院農)</p>	<p>485 座長 宮川久義 タラロマイセス フラバス水和剤(有効成分 <i>Talaromyces flavus</i>) の各種病原菌の培地上での生育に及ぼす影響 ○千田茂樹・尾川新一郎・岩上直子・石川成寿* (出光興産・*栃木農試)</p> <p>486 タラロマイセス フラバス水和剤(1K-155WP)を用いたイネ種子伝染性病害の生物防除 ○能城こずえ・尾川新一郎・千田茂樹・岩上直子・藤晋一*・石川成寿** (出光興産・*秋田県大生資・**栃木農試)</p> <p>487 <i>Trichoderma asperellum</i> SKT-1株によるイネ種子伝染性病害の生物防除(9) - エコホープDJの各種病害防除効果 - ○尾崎剛一・渡辺哲・片岡智・武田和男*・松尾和敏**・野崎和俊(クミアイ化学・長野農事試*・長崎総農林試**)</p>	<p>13:00-14:00 編集委員会主催 オンライン投稿説明会</p>
<p>376 座長 竹下 稔 <i>Plantago asiatica mosaic virus</i> の細胞間移行に關与する外被タンパク質のアミノ末端領域 ○尾関丈二*・橋本将典*・前島健作*・千秋博子*・小松 健**・山次康幸*・難波成任** (*東大院農・**東大院新領域)</p> <p>377 タバコにおけるキュウリモザイクウイルスの長距離移行は葉序に従う ○岩附由絵・東條元昭・大木 理 (大阪府大院生環)</p> <p>378 トマトモザイクウイルス移行タンパク質と相互作用するAtKELPの過剰発現によるウイルス移行の抑制 ○小賀田拓也・佐々木信光・松下保彦・丹生谷博 (農工大遺伝子)</p>	<p>488 生物農薬 <i>Pseudomonas fluorescens</i> G7090製剤を利用したレタス腐敗病およびキャベツ黒腐病の体系的防除 ○小木曾秀紀・藤永真史・星野英正 (長野野花試)</p> <p>489 <i>Bacillus subtilis</i>製剤を散布したナス花卉上での <i>Bacillus subtilis</i> の菌数と灰色かび病抑制効果との關係 ○石井貴明・嶽本弘之 (福岡農総試病害虫部)</p> <p>490 <i>Bacillus</i> 剤の養液添加によるイチゴピシウム根腐病防除 ○鈴木幹彦・外側正之・内山徹・渡辺哲*・野崎和俊* (静岡農試・*クミアイ化学)</p>	
<p>379 タバコモザイクウイルス126-kDaタンパク質の細胞間移行 ○川上茂樹・小林昭雄・渡辺雄一郎*・Roger N. Beachy** (大阪大FRC・*東大総合文化・**Donald Danforth Plant Science Center)</p>	<p>491 座長 有江 力 細菌エンドファイト (<i>Azospirillum</i> sp. B510a株) によるイネいもち病防除効果 ○香口哲行・松浦昌平・清水佐知子・佐久川容子 (広島農技セ)</p>	

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
14:24	178 ムギ栽培圃場由来の細菌による Deoxynivalenol分解 ○生長陽子・佐藤育男・沼尻将宜・吉田重信・平館俊太郎・小板橋基夫・對馬誠也 (農環研)	276 カーネーションうどんこ病の品種間差異 ○伊藤陽子・月星隆雄*・松下陽介・築尾嘉章 (花き研・*畜草研)
14:36	179 北海道の春播コムギにおける赤かび病とデオキシニバレノール汚染低減のための薬剤散布回数 ○相馬 潤 (道立中央農試)	277 座長 堀田治邦 超矮性コムギ品種USU-Apogeeに対するムギ類赤かび病菌(<i>Fusarium graminearum</i> 種複合体)の病原性試験 ○須賀晴久・吉田めぐみ*・中島 隆*・景山幸二**・百町満朗*** (岐大生命セ・*九州沖縄農研・**岐大流域研セ・***岐大応生)
14:48	180 メロン黒点根腐病(<i>Monosporascus cannonballus</i>)に対するクロルピクリン剤の土壌消毒の効果(2) ○黒木尚・川崎安夫・西村範夫*・藤田和久*紀岡雄三** (宮崎総農試・*九州沖縄農研・**片倉チッカリン)	278 <i>Fusarium graminearum</i> のデオキシニバレノール産生を誘導する炭素源 ○川上顕・小泉信三*・中島隆** (中央農研・*東北農研・**九州沖縄農研)
15:00	181 ナシ汚果病の発生環境および薬剤散布から小袋掛けまでの日数の違いが発病に及ぼす影響 ○井上幸次・安井淑彦・那須英夫(岡山農試)	279 <i>Penicillium</i> sp. によるトマト緑かび病(新称) ○梅本清作・大嵩洋子・伊藤実佐子・竹内妙子*・小板橋基夫**・吉田重信**・對馬誠也** (千葉病虫防・*千葉農総研・**農環研)
15:12	182 茶園において接種した <i>Pestalotiopsis</i> 属菌に及ぼす農薬散布の影響 ○園田亮一・山田憲吾・秋田 滋* (野菜茶研・*果樹研カンキツ)	280 ルリタマアザミ茎腐小粒菌核病(新称)の発生 ○忠英一・原田幸雄*・佐野輝男*・伊藤陽子**・成田恵美子・杉山悟 (青森農林総研フラワーセ・*弘前大農生・**岩手大・院)
15:24	183 座長 宍戸雅広 Bacterial communities concomitant to sclerotia of <i>Sclerotium rofsii</i> under flooded conditions, as examined by PCR- denaturing gradient gel electrophoresis and sequence data ○ Adandonon, A., Okabe, I., Momma, N., Hoshino, Y. T., Makino, T. and Matsumoto, N.(NIAES)	281 ダイズ茎疫病抵抗性遺伝子Rps1dに連鎖したSSRマーカーの探索 ○杉本琢真・吉田晋弥・入江和己・塩飽邦子 (兵庫農総セ)
15:36	184 紫紋羽病菌弱病原力株V670に含まれるL2-dsRNAの菌株間における移行 ○須崎浩一・兼松聡子・松本直幸*・伊藤 伝 (果樹研リンゴ・*農環研)	

第3会場	第4会場	第5会場
<p>380 スイカ緑斑モザイクウイルス (CGMMV) 抵抗性マクワウリChang Bougiにおけるウイルス長距離移行能の解析 ○久保田健嗣・杉山充啓*・奥田充・大貫正俊 (九沖農研・*野茶研)</p>	<p>492 植物病原菌を用いたヨーロッパにおけるイタドリ of 生物的防除 (IV) さび病菌並びに斑点病菌の生物的防除素材としての評価と内生菌の斑点病に及ぼす影響 ○黒瀬大介・古屋成人・松元賢・井上優子・Shaw, R.H.*・Djeddour, D.H*・Evans, H.C.*・高木正見 (九大院農・*CABI)</p>	
<p>381 座長 鈴木信弘 カブモザイクウイルスゲノム結合蛋白質 (VPg) による宿主翻訳開始阻害 ○三好 洋・石川 (末廣) 典子*・岡出隼人**・中島秀喜・友尾幸司**・夏秋知英*** (聖マリアンナ医大医・*静岡大農・**大阪薬大薬・***宇都宮大農)</p>	<p>493 Characterization of a predominant morphotype of dark septate endophyte isolated from the roots of field-grown lettuce in Kawakami village, Nagano prefecture. ○Bourgault, R., Kamiya, T., Nakamura, K., and Kuga, Y.(Shinshu Univ.)</p>	
<p>382 リンゴクロロティックリーフスポットウイルス外被タンパク質の40番と75番のアミノ酸の組み合わせ (AとFまたはSとY) がウイルスゲノムRNAの蓄積に必須である ○八重樫元*・磯貝雅道*,**・佐野輝男*,***・吉川信幸*,** (*岩手連大・**岩手大農・***弘前大農生)</p>	<p>494 白紋羽病菌非病原性菌株によるリンゴ白紋羽病の発病抑止 ○中村 仁*・佐々木厚子*・松本直幸*・*吉田幸二*・島根孝典* (*果樹研・*農環研)</p>	
<p>383 トマトモザイクウイルス RNA 複製に関与する ADP リボシル化因子様タンパク質の同定 ○錦織雅樹・土肥浩二*・森正之**・飯哲夫・内藤哲***・石川雅之 (生物研・*CREST・**石川県立大・***北大院生命科学)</p>	<p>495 非病原性 <i>Fusarium oxysporum</i> を用いたキュウリつる割病の交叉防除における病原菌の動態 ○恒川史・久保田真弓・須賀晴久*・百町満朗 (岐大心生・*岐大生命セ)</p>	
<p>384 トマトモザイクウイルスの増殖を抑制するシロイヌナズナのRNA結合タンパク質、BTR1の同定と解析 ○藤崎恒喜*・石川雅之*,** (*生物研・**JST CREST)</p>	<p>496 座長 門田育生 ダイコン栽培における野生エン麦 (ハイオーツ) 畦間作による病害虫の被害軽減 ○山下一夫・新藤潤一・石谷正博 (青森農林総研畑園試)</p>	
	<p>497 トマト葉の微生物群集構造に及ぼす薬剤散布の影響 ○篠原弘亮・白井建史*・森俊夫* (東北農研・*アサヒビール (株))</p>	
	<p>498 トマト葉面菌によるトマト葉かび病菌感染初期段階への影響 ○大高伸明・河又仁・成澤才彦* (茨城生工研・*茨大農)</p>	

3月30日(金) 第3日目	第1会場	第2会場
15:48	185 トラップ法による白紋羽病菌マイコウ イルスの探索 ○古屋典子・井手洋一*・中村 仁 **・池田健一***・松本直幸 (農環 研・*佐賀県果樹試・**果樹研・***神 戸大院自然科学)	
16:00	186 白紋羽病菌に随伴する <i>Trichoderma</i> <i>spp.</i> と <i>Clonostachys rosea</i> f. <i>catenulata</i> ○松本直幸・田 呈明*・星野 (高田) 裕子・大高伸明**・李 重燮***・ 中村 仁**** (農環研・*北京林業大学・** 茨城生工研・***韓国園芸研究所・****果樹 研)	
16:12	187 サラダナ根腐病の防除技術の改善 ○西村範夫・藤田和久 (九州沖縄農研)	
16:24	188 <i>Fusarium oxysporum</i> に対する 静菌作用 の誘導 ○門馬法明・星野(高田)裕子・松本 直幸・吉田隆延 (農環研)	
16:36		

第3会場	第4会場	第5会場
	<p>499 健全および赤かび病罹病コムギ小穂に 生息する細菌群集構造 ○吉田重信・大場淳司*・梁英梅・佐 藤育男・生長陽子・田村季実子・小坂 橋基夫・対馬誠也 (農環研・*古川農試)</p>	